

平成 23 年 度 当 初 予 算 資 料

1 会計別予算	P	1
2 一般会計歳入歳出予算（歳入）	P	2
3 歳入の主な増減	P	3
4 一般会計歳入歳出予算（歳出）	P	4
5 歳出の主な増減	P	5
6 歳出予算款別財源内訳表	P	6
7 歳出予算性質別目的別分類表	P	8
8 一般会計当初予算の推移	P	10
9 税等収入予算資料	P	12
10 市税等の推移（決算ベース）	P	14
11 地方債年度末現在高の推移	P	16
12 一般会計歳出予算（部局別）	P	18
13 各部局当初予算説明資料	P	19
危 機 管 理 監	P	19
政 策 推 進 部	P	23
総 務 部	P	30
財 政 経 営 部	P	34
市 民 文 化 部	P	38
福 祉 部	P	51
健 康 部	P	67
商 工 農 水 部	P	79
環 境 部	P	92
都 市 整 備 部	P	105
会 計 管 理 室	P	119
議 会 事 務 局	P	120
監 査 事 務 局	P	121
教 育 委 員 会	P	122
消 防 本 部	P	137
上 下 水 道 局	P	142
市 立 四 日 市 病 院	P	149
14 防災対策事業について	P	152
15 バリアフリー化事業について	P	154
16 災害時要援護者対策事業について	P	155
17 子育て関係事業について	P	156
18 環境関連事業について	P	159

平成 23 年 度 会 計 別 予 算

(単位 千円)

会 計 名	区 分	平成23年度 予算額(A)	平成22年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) —— × 100(%) (B)
一 般 会 計		104,560,000	99,141,000	5,419,000	105.5
特 別 会 計	競 輪 事 業	15,081,000	17,041,700	1,960,700	88.5
	国 民 健 康 保 険	27,887,900	28,250,600	362,700	98.7
	食肉センター食肉市場	542,400	535,200	7,200	101.3
	土 地 区 画 整 理 事 業	785,900	811,400	25,500	96.9
	住宅新築資金等貸付事業	15,400	15,400	0	100.0
	老 人 保 健 医 療	0	90,000	90,000	皆減
	公 共 用 地 取 得 事 業	1,291,844	1,309,920	18,076	98.6
	農 業 集 落 排 水 事 業	435,200	414,800	20,400	104.9
	介 護 保 険	16,536,900	15,676,500	860,400	105.5
	後 期 高 齡 者 医 療	4,369,800	4,300,100	69,700	101.6
	計	66,946,344	68,445,620	1,499,276	97.8
公 会 営 企 業 計	水 道 事 業	9,941,237	9,836,112	105,125	101.1
	市立四日市病院事業	24,840,569	19,379,808	5,460,761	128.2
	下 水 道 事 業	22,385,915	22,304,430	81,485	100.4
	計	57,167,721	51,520,350	5,647,371	111.0
桜 財 産 区		34,800	33,300	1,500	104.5
合 計		228,708,865	219,140,270	9,568,595	104.4

平成23年度一般会計歳入歳出予算（歳入）

(単位 千円)

区 分 款 別	平成23年度 予算額(A)	平成22年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) — × 100(%) (B)	構成比率 (%)	
					平成23年度	平成22年度
市 税	59,886,600	57,959,600	1,927,000	103.3	57.3	58.5
2. 地方譲与税	1,190,001	1,180,001	10,000	100.8	1.1	1.2
3. 利子割交付金	130,000	160,000	30,000	81.3	0.1	0.2
4. 配当割交付金	80,000	80,000	0	100.0	0.1	0.1
5. 株式等譲渡所得割交付金	30,000	23,000	7,000	130.4	0.0	0.0
6. 地方消費税交付金	2,900,000	2,800,000	100,000	103.6	2.8	2.8
7. ゴルフ場利用税交付金	90,000	90,000	0	100.0	0.1	0.1
8. 自動車取得税交付金	270,001	300,001	30,000	90.0	0.3	0.2
9. 地方特例交付金	494,000	597,000	103,000	82.7	0.5	0.6
10. 地方交付税	1,600,000	1,090,000	510,000	146.8	1.5	1.1
うち普通交付税	1,000,000	830,000	170,000	120.5	1.0	0.8
11. 交通安全対策特別交付金	73,430	75,480	2,050	97.3	0.1	0.1
分担金及び負担金	1,177,948	1,164,052	13,896	101.2	1.1	1.2
使用料及び手数料	2,138,329	2,176,808	38,479	98.2	2.1	2.2
14. 国庫支出金	14,668,554	12,445,952	2,222,602	117.9	14.0	12.6
15. 県支出金	6,109,078	5,636,994	472,084	108.4	5.8	5.7
財産収入	136,405	134,406	1,999	101.5	0.1	0.1
寄附金	8,757	12,701	3,944	68.9	0.0	0.0
繰入金	941,378	1,531,770	590,392	61.5	0.9	1.5
繰越金	1,000,256	1,000,246	10	100.0	1.0	1.0
諸収入	4,929,863	4,865,489	64,374	101.3	4.7	4.9
21. 市債	6,705,400	5,817,500	887,900	115.3	6.4	5.9
うち臨時財政対策債	3,000,000	3,300,000	300,000	90.9	2.9	3.3
歳入合計	104,560,000	99,141,000	5,419,000	105.5	100.0	100.0

付数字は自主財源

【款別の主な増減(歳入)】	(単位:千円)		
	平成22年度予算額	平成23年度予算額	増減
市税			
市民税	21,534,600	21,972,600 (438,000)
固定資産税	30,971,800	30,752,700 (219,100)
事業所税	400,000	2,120,000 (1,720,000)
地方交付税			
普通交付税	830,000	1,000,000 (170,000)
特別交付税	260,000	600,000 (340,000)
使用料及び手数料			
霊園使用料	95,490	106,145 (10,655)
ごみ処理手数料	538,000	497,321 (40,679)
国庫支出金			
障害者自立支援法給付費負担金	1,170,043	1,326,555 (156,512)
子ども手当給付費負担金	4,861,860	6,123,800 (1,261,940)
児童手当支給費負担金	195,693	326 (195,367)
生活保護費負担金	4,079,580	5,132,250 (1,052,670)
循環型社会形成推進交付金	29,792	9,475 (20,317)
社会資本整備総合交付金	184,250	123,500 (60,750)
公園事業費補助金	57,000	82,000 (25,000)
狭あい道路整備等促進事業費補助金	0	35,000 (35,000)
県支出金			
障害者自立支援法給付費負担金	585,020	663,277 (78,257)
子ども手当給付費負担金	689,070	749,100 (60,030)
児童手当支給費負担金	109,049	186 (108,863)
介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金	0	343,600 (343,600)
安心こども基金保育基盤整備事業補助金	127,032	187,266 (60,234)
グリーンニューディール基金補助金	50,000	0 (50,000)
子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金	0	275,297 (275,297)
発電用施設周辺地域振興費補助金	100,000	0 (100,000)
基幹統計調査費委託金	138,613	20,274 (118,339)
繰入金			
財政調整基金繰入金	838,000	0 (838,000)
職員退職手当基金繰入金	571,280	0 (571,280)
グリーンニューディール基金繰入金	0	58,602 (58,602)
市立四日市病院整備基金繰入金	0	679,390 (679,390)
諸収入			
土地開発公社貸付金元利収入	136,817	513,000 (376,183)
中小企業振興資金融資預託金元利収入	1,940,000	2,071,000 (131,000)
競輪事業特別会計繰入金	500,000	100,000 (400,000)
健康増進センター整備費	149,694	0 (149,694)
公害健康被害補償給付費納付金	727,465	685,740 (41,725)
学校給食地場農畜産物利用拡大事業費	31,500	0 (31,500)
埋蔵文化財発掘調査受託費	29,443	192,630 (163,187)
市債			
ごみ処理施設整備事業資金	288,000	1,440,000 (1,152,000)
埋立処分場整備事業資金	0	80,000 (80,000)
道路整備事業資金	364,500	94,500 (270,000)
街路築造事業資金	519,700	369,200 (150,500)
義務教育施設整備事業資金	257,800	663,800 (406,000)
社会教育施設整備事業資金	248,700	14,800 (233,900)
臨時財政対策資金	3,300,000	3,000,000 (300,000)

平成 23 年度 一般会計歳入歳出予算 (歳出)

(単位 千円)

区 分 款 別	平成23年度 予算額(A)	平成22年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) —— × 100(%) (B)	構成比率 (%)	
					平成23年度	平成22年度
1. 議 会 費	777,675	620,658	157,017	125.3	0.7	0.6
2. 総 務 費	11,417,963	12,428,321	1,010,358	91.9	10.9	12.5
3. 民 生 費	36,175,030	32,495,482	3,679,548	111.3	34.6	32.8
4. 衛 生 費	11,773,189	9,206,685	2,566,504	127.9	11.3	9.3
5. 労 働 費	51,076	51,531	455	99.1	0.1	0.1
6. 農 林 水 産 業 費	1,456,779	1,461,199	4,420	99.7	1.4	1.5
7. 商 工 費	3,482,252	3,273,268	208,984	106.4	3.3	3.3
8. 土 木 費	15,702,867	15,954,207	251,340	98.4	15.0	16.1
9. 消 防 費	3,326,125	3,190,271	135,854	104.3	3.2	3.2
10. 教 育 費	8,890,856	8,745,278	145,578	101.7	8.5	8.8
11. 公 債 費	11,406,188	11,614,100	207,912	98.2	10.9	11.7
12. 予 備 費	100,000	100,000	0	100.0	0.1	0.1
歳 出 合 計	104,560,000	99,141,000	5,419,000	105.5	100.0	100.0

【款別の主な増減(歳出)】		(単位:千円)	
	平成22年度予算額	平成23年度予算額	増減
議会費			
議会報酬等	399,281	578,001 (178,720)
総務費			
退職手当	2,602,319	1,545,000 (1,057,319)
基幹統計調査費	138,613	20,274 (118,339)
公共施設ストックマネジメント事業費	0	198,186 (198,186)
戸籍住民基本台帳事務費	96,995	193,710 (96,715)
評価替土地関係経費	52,000	0 (52,000)
民生費			
子ども医療費助成(乳幼児医療費助成)	404,000	494,300 (90,300)
サテライト型特別養護老人ホーム建設費補助金	0	232,000 (232,000)
知的障害児施設建設費補助金	0	50,000 (50,000)
消防設備整備費補助金	0	50,800 (50,800)
障害者介護給付費	1,971,579	2,136,625 (165,046)
障害者訓練等給付費	289,800	440,000 (150,200)
子ども手当	6,240,000	7,622,000 (1,382,000)
児童手当	413,795	700 (413,095)
保育所整備事業費	201,500	67,700 (133,800)
民間保育所整備事業費	186,000	333,600 (147,600)
扶助費(生活保護費)	5,433,000	6,840,000 (1,407,000)
衛生費			
新総合ごみ処理施設整備事業費	397,241	1,495,050 (1,097,809)
埋立処分場延命化事業費	0	170,000 (170,000)
埋立処分場整備事業費	56,385	140,000 (83,615)
ごみ収集車両整備事業費	0	67,577 (67,577)
中小企業新エネルギー導入等促進事業費補助金	0	55,000 (55,000)
子宮頸がん等ワクチン接種事業費	0	641,457 (641,457)
病院事業費出資金	488,584	1,101,022 (612,438)
病院事業費補助金	160,113	61,805 (98,308)
農林水産業費			
市場地区ほ場整備事業費	25,140	0 (25,140)
かんがい排水事業費	0	65,000 (65,000)
三重用水事業償還金	164,414	140,700 (23,714)
商工費			
企業立地奨励金交付事業費	534,000	632,000 (98,000)
民間研究所立地奨励金交付事業費	100,500	7,920 (92,580)
中小企業振興資金融資預託金	1,940,000	2,071,000 (131,000)
桜スポーツランド施設整備事業費	0	45,500 (45,500)
土木費			
下水道雨水処理費等負担金	4,692,913	4,805,179 (112,266)
社会資本整備総合交付金事業費(橋梁)	15,000	110,000 (95,000)
浜園ターミナル施設等撤去事業費	0	74,800 (74,800)
四日市港管理組合負担金	1,691,382	1,674,180 (17,202)
土地区画整理特別会計繰出金	693,353	640,366 (52,987)
下水道汚水処理費等基準内補助金	2,200,087	2,119,821 (80,266)
地方特定道路整備事業費(道路)	260,000	100,000 (160,000)
まちづくり交付金事業費(街路)	182,000	18,000 (164,000)
社会資本整備総合交付金事業費(道路)	290,000	10,000 (280,000)
消防費			
消防車両購入費	135,514	191,217 (55,703)
退職手当	81,000	131,400 (50,400)
教育費			
泊山小学校増築事業	203,758	0 (203,758)
河原田小学校改築事業費	27,471	640,350 (612,879)
武道場整備事業費	10,000	139,391 (129,391)
久留倍史跡整備事業費	313,380	25,100 (288,280)
埋蔵文化財発掘調査受託事業費	10,748	151,187 (140,439)
霞ヶ浦緑地運動施設整備事業費	8,400	72,000 (63,600)
看護大学設立支援事業費	135,837	0 (135,837)
公債費			
地方債元利償還金	11,604,100	11,381,188 (222,912)

歳出予算款別

款別	本年度 予算額	左の財		
		国庫支出金	県支出金	地方債
1. 議会費	777,675			
2. 総務費	11,417,963	16,765	718,636	346,200
3. 民生費	36,175,030	14,112,127	4,478,127	
4. 衛生費	11,773,189	121,314	428,646	1,580,000
5. 労働費	51,076			
6. 農林水産業費	1,456,779	2,500	120,837	28,700
7. 商工費	3,482,252		30,450	
8. 土木費	15,702,867	321,245	23,849	1,029,100
9. 消防費	3,326,125		146,035	42,800
10. 教育費	8,890,856	94,603	162,498	678,600
11. 公債費	11,406,188			
12. 予備費	100,000			
計	104,560,000	14,668,554	6,109,078	3,705,400
歳入振替項目				3,000,000
総計	104,560,000	14,668,554	6,109,078	6,705,400

財源内訳表

(単位 千円)

源内訳			前年度 一般財源	一般財源投入率 (%)	
使用料及び手数料	その他	一般財源		本年度	前年度
	434	777,241	620,315	1.1	0.9
177,721	259,476	9,899,165	10,088,604	13.9	14.4
2,294	1,361,107	16,221,375	15,342,982	22.8	21.9
899,765	1,709,033	7,034,431	6,639,545	9.9	9.5
267	1,000	49,809	50,265	0.1	0.1
212	100,845	1,203,685	1,266,154	1.7	1.8
	2,198,754	1,253,048	1,213,456	1.8	1.7
616,049	135,288	13,577,336	13,559,305	19.1	19.3
84,814	295,422	2,757,054	2,663,967	3.9	3.8
141,477	384,060	7,429,618	7,522,119	10.4	10.7
66,962	526,922	10,812,304	11,128,542	15.2	15.8
		100,000	100,000	0.1	0.1
1,989,561	6,972,341	71,115,066	70,195,254	100.0	100.0
148,768	1,222,266	4,371,034	5,840,172		
2,138,329	8,194,607	66,744,032	64,355,082		

構成比については端数処理のため合計が合わない場合があります

歳 出 予 算 性 質 別

区 分	本 年 度		前 年 度	
	予 算 額 (A)	一 般 財 源 (B)	予 算 額 (C)	一 般 財 源 (D)
1. 人 件 費	16,768,093	15,134,972	18,447,718	16,036,681
(1) 報 酬	641,478	635,590	738,279	727,571
(2) 基 本 給	7,522,650	6,059,271	7,965,923	6,734,149
(3) そ の 他 の 手 当	4,214,265	4,110,526	4,285,261	3,845,601
(4) 退 職 手 当	1,827,767	1,819,567	2,983,000	2,410,435
(5) 恩 給 退 職 年 金	4,105	4,105	7,066	7,066
(6) そ の 他	2,557,828	2,505,913	2,468,189	2,311,859
2. 物 件 費	14,183,679	11,696,404	12,879,306	10,897,406
3. 維 持 補 修 費	1,610,118	843,780	1,481,888	819,468
4. 扶 助 費	23,454,358	5,997,206	20,465,539	5,371,403
5. 補 助 費 等	15,169,493	13,712,825	14,977,465	13,576,152
6. 投 資 ・ 出 資 金 ・ 貸 付 金	3,231,956	421,632	2,490,065	488,584
7. 積 立 金	487,951	116,500	524,252	112,300
8. 繰 出 金	8,088,790	7,074,783	7,900,832	6,806,520
9. 公 債 費	11,406,188	10,812,304	11,614,100	11,128,542
10. 投 資 的 経 費	10,059,127	5,204,660	8,259,618	4,858,198
(1) 普 通 建 設 事 業	9,655,687	5,181,020	7,855,743	4,829,823
イ、補 助	3,217,941	374,328	1,861,904	424,709
ロ、単 独	6,437,746	4,806,692	5,993,839	4,405,114
(2) 災 害 復 旧 事 業			0	0
イ、補 助			0	0
ロ、単 独			0	0
(3) 失 業 対 策 事 業			0	0
イ、補 助			0	0
ロ、単 独			0	0
(4) 県 営 事 業 負 担 金	403,440	23,640	403,875	28,375
11. 予 備 費	100,247	100,000	100,217	100,000
合 計	104,560,000	71,115,066	99,141,000	70,195,254

一 般 会 計 当 初

年度	一 般 会 計		歳 入						
	伸 び 率	市 税	地 方 交 付 税		市 債		繰 入 金		
			普 通	特 別	発 行 額	市 債 依 存 度			
平 成	%	%	実 績	実 績		%			
7	91,952,800	4.5	47,794,000	52.0	-	897,915	9,573,900	10.4	2,900,000
8	94,337,200	2.6	48,511,700	51.4	-	951,334	13,814,300	14.7	1,090,120
9	94,917,000	0.6	53,613,680	56.5	-	980,457	10,425,900	11.0	700,000
10	91,013,000	4.1	52,890,100	58.1	-	1,079,724	6,460,200	7.1	2,470,000
11	90,900,000	0.1	52,202,800	57.4	2,348,319	1,215,065	5,299,300	5.8	1,692,000
12	93,280,000	2.6	50,140,900	53.8	3,042,159	1,288,142	5,868,500	6.3	2,908,000
13	95,760,000	2.7	51,120,000	53.4	2,988,761	1,236,052	8,382,800	8.7	2,840,000
14	94,580,000	1.2	49,616,000	52.4	4,100,304	1,183,361	8,394,200	8.9	3,175,000
15	90,990,000	3.8	47,339,000	52.0	3,974,549	1,105,390	9,451,300	10.4	2,600,000
16	95,980,000	5.5	48,305,000	50.3	2,039,446	1,105,338	13,373,200	13.9	1,445,000
17	93,290,000	2.8	50,395,300	54.0	2,769,273	1,162,118	8,782,500	9.4	180,000
18	95,400,000	2.3	53,605,700	56.2	786,908	1,045,152	8,468,700	8.9	1,130,000
19	98,138,000	2.9	58,053,600	59.2	807,954	799,504	7,947,500	8.1	300,000
20	99,848,000	1.7	63,244,700	63.3	385,604	783,864	6,004,900	6.0	0
21	97,382,000	2.5	61,144,400	62.8	825,917	784,864	5,105,300	5.2	0
22	99,141,000	1.8	57,959,600	58.5	830,000	260,000	5,817,500	5.9	849,041
23	104,560,000	5.5	59,886,600	57.3	1,000,000	600,000	6,705,400	6.4	14,253

予 算 の 推 移

(単位 : 千円)

繰 入 金 競 輪	歳 出						
	公 債 費	構成比	地方債年 度未残高	投 資 的 経 費			繰 出 金
				うち普通建設事業費			
				補 助	単 独		
実績		%	実績				
0	7,499,239	8.2	76,704,095	22,571,833	6,917,095	15,511,417	8,671,542
50,000	7,889,890	8.4	89,283,768	23,714,303	6,947,530	16,729,274	8,907,190
20,000	8,815,769	9.3	99,938,335	22,358,602	4,789,663	17,539,125	9,254,338
50,000	9,759,014	10.7	105,489,490	16,663,239	4,384,578	12,234,355	9,736,790
50,000	10,322,312	11.4	106,062,498	13,739,059	5,857,512	7,827,935	10,218,412
50,000	11,402,980	12.2	105,427,282	13,757,572	4,660,986	8,470,905	11,993,916
50,000	11,635,219	12.2	105,328,737	15,957,660	5,532,111	9,865,564	12,115,049
10,000	12,484,540	13.2	104,684,936	13,142,840	1,999,812	10,322,178	5,068,066
50,000	12,343,622	13.6	104,476,960	10,305,917	1,359,639	8,529,628	5,439,030
100,000	18,557,091	19.3	105,425,611	9,605,201	2,007,201	7,521,250	5,762,733
0	12,733,510	13.6	102,599,283	11,515,480	3,504,972	7,853,883	6,397,305
0	12,836,604	13.5	100,338,490	12,976,803	2,792,118	10,084,376	6,621,011
0	12,620,315	12.9	98,296,307	12,525,578	2,371,154	9,819,624	6,710,597
0	12,959,925	13.0	98,828,006	11,519,976	1,733,390	9,430,111	7,932,841
100,000	12,659,464	13.0	96,414,973	9,026,030	1,285,914	7,687,241	8,216,381
500,000	11,614,100	11.7	93,717,025	8,259,618	1,861,904	5,993,839	7,900,832
100,000	11,406,188	10.9	90,615,720	10,059,127	3,217,941	6,437,746	8,088,790

平成 2 3 年 度 税 等 収 入 予 算 資 料

(単位 千円)

科目	税 率 等	調定見込額	収納率 見込%	本年度当初予算 計上額(A)	前年度当初予算 計上額(B)	$\frac{(A)}{(B)} \times 100$ %
市税		62,602,922	95.7	59,886,600	57,959,600	103.3
1. 市民税		23,674,179	92.8	21,972,600	21,534,600	102.0
一個人		18,949,835	91.1	17,269,600	17,217,100	100.3
イ、現年度分	149,825(人)	17,454,235	96.8	16,895,700	16,862,400	100.2
所得割	6%	17,004,752	96.8	16,460,600	16,418,600	100.3
均等割	3,000(円)	449,483	96.8	435,100	443,800	98.0
ロ、繰越分		1,495,600	25.0	373,900	354,700	105.4
二法人	8,286(社)	4,724,344	99.5	4,703,000	4,317,500	108.9
イ、現年度分		4,714,744	99.7	4,700,600	4,312,100	109.0
法人税割	13.5%	3,714,744	99.7	3,703,600	3,315,100	111.7
均等割	(万円) 5、12、13 15、16、40 41、175、300	1,000,000	99.7	997,000	997,000	100.0
ロ、繰越分		9,600	25.0	2,400	5,400	44.4
2. 固定資産税		31,633,917	97.2	30,752,700	30,971,800	99.3
一固定資産税		31,598,617	97.2	30,717,400	30,934,600	99.3
イ、現年度分		30,820,578	99.0	30,519,000	30,739,700	99.3
土地分	1.4%	8,686,890	98.4	8,547,900	8,667,700	98.6
家屋分	1.4%	9,363,618	98.4	9,213,800	8,943,100	103.0
償却資産分	1.4%	12,770,070	99.9	12,757,300	13,128,900	97.2
ロ、繰越分		778,039	25.5	198,400	194,900	101.8
二国有資産等所在 市町村交付金		35,300	100.0	35,300	37,200	94.9
イ、現年度分		35,300	100.0	35,300	37,200	94.9
交付金	1.4%	35,300	100.0	35,300	37,200	94.9
3. 軽自動車税		566,473	92.8	525,900	516,000	101.9
イ、現年度分	106,585(台) 1,000(円) ~ 7,200(円)	532,029	97.1	516,600	508,100	101.7
ロ、繰越分		34,444	27.0	9,300	7,900	117.7
4. 市たばこ税	4,618円/千本 2,190円/千本	1,877,600	100.0	1,877,600	1,878,100	100.0
5. 入湯税	日帰り 1人 80円 宿泊 1人1泊 150円	800	100.0	800	400	200.0
6. 事業所税		2,137,696	99.2	2,120,000	400,000	530.0
イ、現年度分		2,136,896	99.2	2,119,800	400,000	530.0
資産割	600円/m ²	1,889,819	99.2	1,874,700	380,000	493.3
従業者割	0.25%	247,077	99.2	245,100	20,000	1225.5
ロ、繰越分		800	25.0	200	-	皆増
7. 都市計画税		2,712,257	97.2	2,637,000	2,658,700	99.2
イ、現年度分		2,646,767	99.0	2,620,300	2,642,500	99.2
土地分	0.2%	1,424,747	99.0	1,410,500	1,470,500	95.9
家屋分	0.2%	1,222,020	99.0	1,209,800	1,172,000	103.2
ロ、繰越分		65,490	25.5	16,700	16,200	103.1

(単位 千円)

科目	税率等	調定見込額	収納見込率%	本年度予算計上額(A)	前年度予算計上額(B)	$\frac{(A)}{(B)} \times 100$ %
地方譲与税		1,190,001	100.0	1,190,001	1,180,001	100.8
1. 地方揮発油譲与税		260,000	100.0	260,000	240,000	108.3
2. 自動車重量譲与税		630,000	100.0	630,000	640,000	98.4
3. 地方道路譲与税		1	100.0	1	1	100.0
4. 特別とん譲与税		300,000	100.0	300,000	300,000	100.0
利子割交付金		130,000	100.0	130,000	160,000	81.3
利子割交付金		130,000	100.0	130,000	160,000	81.3
配当割交付金		80,000	100.0	80,000	80,000	100.0
配当割交付金		80,000	100.0	80,000	80,000	100.0
株式等譲渡所得割交付金		30,000	100.0	30,000	23,000	130.4
株式等譲渡所得割交付金		30,000	100.0	30,000	23,000	130.4
地方消費税交付金		2,900,000	100.0	2,900,000	2,800,000	103.6
地方消費税交付金		2,900,000	100.0	2,900,000	2,800,000	103.6
ゴルフ場利用税交付金		90,000	100.0	90,000	90,000	100.0
ゴルフ場利用税交付金		90,000	100.0	90,000	90,000	100.0
自動車取得税交付金		270,001	100.0	270,001	300,001	90.0
自動車取得税交付金		270,001	100.0	270,001	300,001	90.0
地方特例交付金		494,000	100.0	494,000	597,000	82.7
地方特例交付金		494,000	100.0	494,000	597,000	82.7

基金の状況

(単位:千円)

基金名	平成23年度末 残高見込	基金名	平成23年度末 残高見込
桜運動広場整備基金	15,618	ふるさと・水と土保全基金	14,257
土地開発公社経営健全化基金	3,671,885	中小企業振興基金	11,792
国際交流基金	102,745	広域基幹道路整備基金	994,701
文化振興基金	211,922	緑化基金	160,119
財政調整基金	5,705,293	市営住宅整備基金	429,151
都市基盤・公共施設等整備基金	326,635	学校施設整備基金	1,082,686
減債基金	322,109	小菅科学教育振興基金	26,023
まちづくり事業基金	2,226,323	土地開発基金	1,151,154
社会福祉事業振興基金	419,194	競輪事業財政調整基金	1,657,814
災害救助基金	107,974	国民健康保険支払準備基金	1,502,601
グリーンニューディール基金	0	東橋北住環境整備基金	109
廃棄物処理施設整備基金	794,719	介護保険給付費支払準備基金	824,673
市立四日市病院整備基金	330,990	介護従事者処遇改善臨時特例基金	0

市税等の推移

(決算ベース)

(単位 千円)

年 度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (12月補正後)	平成22年度 (決算見込)	平成23年度 (当初予算)
市 税	98.5%	97.2%	98.6%	100.4%	104.8%	102.5%	111.7%	105.1%	96.5%	94.7%	96.4%	101.5%
	52,310,758	50,839,465	50,133,200	50,317,982	52,724,859	54,045,765	60,367,262	63,419,685	61,227,427	57,959,600	59,001,118	59,886,600
うち個人市民税	97.1%	98.7%	93.6%	97.1%	106.1%	109.5%	122.9%	103.2%	100.5%	90.1%	90.2%	100.1%
	14,389,736	14,204,296	13,294,067	12,907,800	13,696,359	14,990,751	18,430,530	19,024,242	19,111,410	17,217,100	17,247,200	17,269,600
うち法人市民税	104.9%	84.7%	122.2%	108.8%	126.8%	126.3%	114.3%	88.1%	51.2%	111.0%	131.6%	91.9%
	5,296,663	4,487,950	5,485,014	5,967,750	7,568,809	7,537,684	8,613,826	7,587,180	3,887,930	4,317,500	5,116,700	4,703,000
うち固定資産税	98.0%	98.6%	97.4%	100.1%	100.1%	100.3%	107.0%	112.4%	105.0%	93.2%	94.4%	98.0%
	27,293,990	26,899,992	26,199,571	26,221,424	26,253,016	26,337,518	28,169,484	31,667,015	33,246,556	30,971,800	31,391,448	30,752,700
うち事業所税										皆増 400,000	皆増 147,000	1442.2% 2,120,000
地方譲与税	105.9%	96.0%	104.9%	141.5%	126.5%	145.2%	40.0%	98.4%	89.2%	92.3%	95.6%	97.4%
	1,389,423	1,334,308	1,400,068	1,981,641	2,506,349	3,640,316	1,457,335	1,433,430	1,278,194	1,180,001	1,221,697	1,190,001
利子割交付金	98.7%	28.8%	70.5%	98.1%	58.5%	71.9%	129.2%	107.5%	81.9%	78.3%	92.5%	68.8%
	2,145,652	617,784	435,386	426,981	249,861	179,703	232,175	249,672	204,414	160,000	189,000	130,000
配当割交付金				皆増	151.5%	148.9%	115.5%	44.3%	76.2%	102.4%	112.7%	90.9%
				88,672	134,296	200,027	231,081	102,432	78,091	80,000	88,000	80,000
株式等譲渡所得割交付金				皆増	227.1%	93.0%	89.4%	19.9%	113.7%	57.7%	75.3%	100.0%
				93,516	212,386	197,566	176,535	35,051	39,854	23,000	30,000	30,000
地方消費税交付金	92.7%	91.3%	107.4%	109.0%	92.4%	104.0%	98.3%	94.2%	108.2%	91.9%	99.8%	95.4%
	2,955,812	2,699,183	2,900,256	3,162,038	2,922,551	3,040,440	2,989,911	2,815,636	3,046,168	2,800,000	3,040,936	2,900,000
ゴルフ場利用税交付金	103.5%	95.2%	98.0%	96.8%	98.8%	96.0%	102.2%	97.1%	97.8%	94.8%	94.8%	100.0%
	114,287	108,754	106,614	103,217	101,969	97,842	99,947	97,054	94,953	90,000	90,000	90,000
特別地方消費税交付金	17.6%	皆減										
	1,978											
自動車取得税交付金	94.4%	94.8%	107.2%	102.1%	100.3%	99.0%	94.0%	90.4%	53.6%	86.4%	86.4%	90.0%
	740,568	701,758	752,335	768,479	770,963	762,890	717,325	648,213	347,336	300,001	300,002	270,001
地方特例交付金	102.8%	96.6%	99.6%	101.4%	101.8%	90.9%	25.3%	170.1%	102.2%	74.4%	74.4%	95.6%
	1,747,237	1,687,946	1,681,143	1,705,436	1,736,681	1,578,349	399,135	679,061	694,124	516,518	516,518	494,000
地方交付税	95.3%	119.4%	94.7%	66.8%	98.9%	46.6%	87.7%	72.8%	137.7%	106.1%	141.4%	70.2%
	5,267,926	6,290,170	5,954,225	3,976,031	3,931,391	1,832,060	1,607,458	1,169,468	1,610,781	1,708,680	2,278,332	1,600,000
うち普通交付税	95.1%	128.1%	94.7%	58.8%	100.6%	28.4%	102.7%	47.7%	214.2%	175.4%	199.9%	60.6%
	3,859,379	4,942,661	4,681,823	2,753,891	2,769,273	786,908	807,954	385,604	825,917	1,448,680	1,651,021	1,000,000
うち特別交付税	96.0%	95.7%	94.4%	96.0%	95.1%	89.9%	76.5%	98.4%	100.1%	33.1%	79.9%	95.6%
	1,408,547	1,347,509	1,272,402	1,222,140	1,162,118	1,045,152	799,504	783,864	784,864	260,000	627,311	600,000

平成16年度までについては、旧四日市市と旧楠町の決算額の合計

上段は対前年度比

地方債年度末

年度		17決算	18決算	19決算	20決算	21決算
区分						
普通会計	一般会計	102,599,283	100,338,490	98,296,307	98,828,006	96,414,973
	うち減税補てん債 (借換債含む)	11,366,740	11,078,711	10,153,447	9,185,099	8,172,276
	うち臨時財政対策債	14,365,675	16,803,350	18,719,501	20,288,656	22,924,184
	特別会計					
	土地区画整理事業	4,399,074	4,077,107	3,736,457	3,307,943	2,882,653
	住宅新築資金等 貸付事業	160,701	115,448	94,709	78,302	39,073
	公共用地取得事業 (都市下水路分)	8,619,030	8,176,966	7,630,702	6,867,138	5,629,090
	計	563,100	609,505	589,421	567,815	539,188
	計	116,341,188	113,317,515	110,347,596	109,649,204	105,504,977
	うち合併特例債 (基金造成含む)	2,052,100	4,547,200	8,305,200	10,485,714	11,366,435
収益	競輪事業会計	75,703	25,301			
準公営企業	食肉センター 食肉市場事業	1,749,747	1,783,229	1,735,359	1,742,604	1,632,459
	公共下水道事業					
	農業集落排水事業	1,864,438	1,975,703	1,987,183	1,946,148	1,927,891
	計	3,614,185	3,758,932	3,722,542	3,688,752	3,560,350
公営企業	水道事業	21,375,797	21,197,872	19,483,177	17,526,743	17,051,448
	市立四日市病院事業	2,627,307	2,817,649	3,744,942	3,539,494	3,053,377
	下水道事業	103,002,712	101,600,715	100,258,068	97,689,452	95,201,618
	計	127,005,816	125,616,236	123,486,187	118,755,689	115,306,443
重複分		563,100	609,505	589,421	567,815	539,188
合計		246,473,792	242,108,479	236,966,904	231,525,830	223,832,582

現在高の推移 (過去の決算額に楠町分を含む)

(単位 千円)

22見込	23 当初予算				
	償還元金	償還利子	元利合計	発行額	残高
93,717,025	9,806,705	1,574,483	11,381,188	6,705,400	90,615,720
7,117,782	1,067,746	94,949	1,162,695		6,050,036
26,403,066	1,228,338	378,215	1,606,553	3,000,000	28,174,728
2,500,023	349,835	45,619	395,454		2,150,188
33,789	5,158	1,376	6,534		28,631
4,403,587	1,225,503	66,341	1,291,844		3,178,084
504,926	34,670	6,367	41,037		470,256
101,159,350	11,421,871	1,694,186	13,116,057	6,705,400	96,442,879
12,117,208	1,184,415	174,267	1,358,682	1,644,800	12,577,593
1,529,606	117,692	26,783	144,475	9,000	1,420,914
(14年度以降については、四日市市分は公営企業会計で計上)					
1,944,638	68,235	42,305	110,540	109,200	1,985,603
3,474,244	185,927	69,088	255,015	118,200	3,406,517
17,364,859	680,826	433,219	1,114,045	540,000	17,224,033
3,039,977	837,832	32,565	870,397	5,242,900	7,445,045
94,622,798	5,236,230	2,288,343	7,524,573	2,692,800	92,079,368
115,027,634	6,754,888	2,754,127	9,509,015	8,475,700	116,748,446
504,926	34,670	6,367	41,037		470,256
219,156,302	18,328,016	4,511,034	22,839,050	15,299,300	216,127,586

一般会計歳出予算【部局別】

(単位:千円、%)

区分		23年度当初	22年度当初	増減額	伸率
部局		A	B	A - B C	C / B × 100
危機管理監		168,100	155,116	12,984	8.4
政策推進部		3,636,089	3,800,816	164,727	4.3
総務部		5,133,876	6,415,224	1,281,348	20.0
財政経営部		21,825,535	21,637,757	187,778	0.9
市民文化部		1,671,434	1,669,690	1,744	0.1
福祉部		29,159,594	25,693,404	3,466,190	13.5
健康部		3,134,871	2,413,874	720,997	29.9
商工農水部		4,487,581	4,302,939	184,642	4.3
環境部		6,959,634	5,668,215	1,291,419	22.8
都市整備部		6,377,296	6,623,170	245,874	3.7
会計管理室		27,621	27,271	350	1.3
議会事務局		777,675	620,658	157,017	25.3
選挙管理委員会		243,259	144,758	98,501	68.0
監査事務局		86,726	92,126	5,400	5.9
教育委員会		8,741,846	8,464,080	277,766	3.3
消防本部		3,324,465	3,189,211	135,254	4.2
企業補助費等 に対する	上下水道局	7,196,783	7,149,568	47,215	0.7
	市立四日市病院	1,607,615	1,073,123	534,492	49.8
合計		104,560,000	99,141,000	5,419,000	5.5

部局別予算説明資料

危機管理監

新年度予算における基本的な方針

近い将来に、発生すると想定されている東南海地震及び南海地震などへの地震防災対策をはじめ、市民の生命と財産を災害などから守るための「安全と安心の確保」は、市の最重点課題の一つであり、さまざまな取組を推進していく必要がある。そのため、木造住宅の耐震化の促進及び地域における自主防災活動の推進及び人材育成を図る。

また、地震や風水害などの自然災害だけでなく、多様化する危機に対して、市全体としての危機対応力を強化していくため危機管理体制の整備を進める。

防災対策の推進及び危機管理体制の整備について

東南海地震及び南海地震などの地震発生時において、被災者「ゼロ」のまちづくりを目指し、被害の事前軽減に取り組む。まず、一般住宅耐震化事業として、木造住宅の無料耐震診断、補強計画策定補助、耐震補強補助等を実施する。

また、自らの命は自ら守り、地域で助け合えるよう地域の実情に合わせて、体制づくりや人材育成、災害対応、災害時要援護者への支援活動について、引き続き推進し、地域防災力の向上を図る。

さらに、災害から市民の生命、財産を守るため、迅速な情報収集や適切な避難行動につなげる情報提供、情報発信を行う。

加えて、危機が発生した場合に、それらに効果的・効率的に対処し、市民生活への被害や影響を最小限度にとどめることができるようにしていくために、実効性のある全庁的な危機管理体制の整備とその機能の強化を図る。

【主な事業】	耐震化促進事業	77,000千円
	自主防災組織活性化事業	27,500千円
	防災リーダー養成事業	860千円

耐震化促進事業

1. 目的

大規模地震から市民の尊い命と財産を守るため、国土交通省の社会資本整備総合交付金を用いた「住宅・建築物安全ストック形成事業」や三重県の「木造住宅の耐震関係支援制度」を活用し、住宅・建築物の耐震化を促進する。

また、「緊急雇用創出事業」の活用により啓発員を雇用し、戸別訪問による無料耐震診断受診の促進や地震対策の啓発を引き続き行う。

2. 内容

木造住宅無料耐震診断・・・昭和 56 年の建築基準法改正前に着工された木造住宅を対象として、無料耐震診断を継続して実施する。

木造住宅耐震補強計画策定費補助金・・・木造住宅の耐震診断受診者が耐震補強工事を行うための補強計画策定費に対する補助を継続して実施する。

木造住宅耐震補強工事費補助金・・・木造住宅の耐震診断受診者が行う耐震補強工事の費用に対する補助を継続して実施する。(準耐震補強工事を含む)

木造住宅除却工事費補助金・・・老朽化が著しく耐震補強が困難な住宅等について、隣接する避難路及び他の住宅等に影響を及ぼすと認められる場合に、その除却に必要な経費の一部を助成する。

耐震シェルター設置費補助金・・・災害時要援護者が耐震シェルターを設置する際に、その費用の一部を助成する事業を継続して実施する。

3. 予算額 77,000千円 (財源内訳) 県支出金 52,433千円
 (前年度 72,000千円) 一般財源 24,567千円

4. 進捗状況等

(単位: 戸)

区 分	H17	H18	H19	H20	H21	H22 (見込)	H23 (予定)
木造住宅無料耐震診断	560	290	403	214	470	780	600
耐震補強計画作成		73	66	63	51	60	61
木造住宅耐震補強	39	46	37	32	40	39	26
木造住宅準耐震補強		11	9	9	0	0	1
除却工事費補助		11	13	5	29	59	50
耐震シェルター設置						1	2
無料耐震診断啓発訪問					5,165	14,000	14,000

担当 危機管理室 鈴木 354-8119

自主防災組織活性化事業費

1. 目的

地震等の大規模災害に対応するため「自らの命は自らが守る」という防災の基本に
たち、市民の自助努力や地域連携による共助が促進するように自主防災組織の活動支
援を行う。

2. 内容

- (1) 防災資機材・設備整備補助・・・地区連合自主防災組織が実施する防災資機材や設備
の整備に要した経費の1/2の額を補助。
- (2) ソフト事業補助・・・ 防災訓練等、耐震診断、耐震補強の啓発事業、家具固定
の推進事業、災害時要援護者対策事業等に要した経費の全額。
- (3) 自主防災組織結成補助・・・新規に自主防災組織を結成した場合に、防災資機材の整
備に要した経費について補助。

3. 予算額 27,500千円 (財源内訳) 一般財源 27,500千円
(前年度 31,305千円)

自主防災組織の結成総数

区 分	H19	H20	H21	H22
地区防災組織	29	29	29	29
自主防災組織	658	667	672	675



担当 危機管理監 危機管理室
村田
354 - 8119

(新)防災リーダー養成事業費

1. 目的

地震や風水害等をはじめとする大規模災害に対応するため、自助・共助の精神に基づいた防災、減災活動を指導できる防災リーダーなどを養成し、円滑な防災活動の推進を図る。

2. 内容

四日市市防災大学

市内各地区から防災リーダー候補を選任していただき、地域に根ざした防災、減災活動が行なえる指導者を養成する。

女性防災リーダー養成講座

女性を対象とした防災講座を開催し、防災、減災活動への女性の参画を推進する。

夏休み子ども防災講座

夏休み期間中に子どもたちを対象とした防災講座を開催し、次世代を担う若年層への防災、減災活動への関心を高めるとともに、家族への波及効果を狙う。

3. 予算額 860千円 (財源内訳) 一般財源 860千円
(前年度 0千円)



図上訓練(DIG)



防災大学修了式

担当 危機管理監 危機管理室
内 系
354 - 8119

政策推進部

新年度予算における基本的な方針

平成23年度を初年度とする新たな総合計画に揚げた目指すべき都市像を実現するため、5つの基本目標に位置付けた重点的な施策の全庁的な推進を図る。

また、30万都市に見合った権限及び財源を有した基礎自治体として、市民に身近な行政サービスをより一層効率的に提供できるよう、中核市の移行に向けた取り組みをさらに強化する。

一方、四日市のみならず中部圏の産業を物流でささえている四日市港について、名古屋港との連携も視野に入れ、「国際産業ハブ港」としての機能強化を促進する。

広報について、公募委員も参画いただく広報戦略会議を立ち上げ、各種の情報媒体の有効活用など、四日市のイメージアップに向けた効果的な情報発信を推進する。

また、広聴に関しては、市政アンケートなどにより、市民ニーズを的確に把握し、具体的な施策への反映に努める。

さらに、東京事務所における、首都圏での本市の魅力発信や地元製品の宣伝などの情報発信の強化や、本市ゆかりの人材を活かした、地域活性化や都市イメージの向上などを推進する。

1. 総合計画の推進について

「四日市市総合計画(2011年度～2020年度)」に基づく第1次推進計画の的確な進行管理に努める。また、総合計画における重点的な施策を推進するため、必要に応じ部局横断的なプロジェクトチームを編成し、効果的な施策展開を図るとともに、職員からの政策提案制度を創設し、意欲ある職員の柔軟な発想を最大限活用していく。

また、遊休化が見込まれる公共施設や社会情勢の変化に伴い用途を見直すべき公共施設などについては、市民ニーズに即した利活用に向けた具体化策の構築に向け、調査検討を行う。

【主な事業】	総合計画推進事業費	4,629千円
	公共施設有効活用調査検討事業費	3,000千円

2. 中核市移行の推進について

産業廃棄物不適正処理事案である大矢知・平津事案の対策工法等の検討にあわせて、中核市移行に関する県との協議を具体的に進める。

また、権限移譲をはじめ、地域主権に関する国の動向を確実に把握したうえで、庁内調整等を着実に進めるとともに、県との諸協議を十分行う。

【主な事業】	中核市移行推進事業費	380千円
--------	------------	-------

3. 四日市港の整備促進について

本市の産業発展を支えるとともに、市民に親しまれる港湾空間も提供している四日市港の更なる整備・充実を図るため、「四日市港長期構想」並びに平成 23 年度改訂予定の「四日市港港湾計画」の着実な促進を図る。特に名古屋港との緊密な連携のもと、伊勢湾全体のモノの流れを増加させる「国際産業ハブ港」の実現に向け、臨港道路霞4号幹線などの整備促進や、ポートセールスなどの集荷対策をより一層強化していく。

また、本市のまちづくりと一体となった港づくりに向けて、千歳運河周辺における土地の有効活用につながる分区規制の見直しなどを四日市港管理組合に働きかけるとともに、「末広橋梁」や「潮吹き防波堤」などの観光資源を活かした周遊コースの設定等を促進する。

【主な事業】	四日市港管理組合負担金	1,674,180千円
	浜園ターミナル施設等撤去事業費	74,800千円

4. 広報施策の推進について

広報紙や市政情報番組、ホームページを通じ、市政や施策に関する情報を市民にわかりやすく提供するとともに、市内外に、より効果的に四日市の情報を発信するため、専門的な知識や経験を活かした新しい視点からのアドバイスもいただける委員を公募し、本市独自の先進的な広報戦略を検討し、展開していく。

また、それらの取り組みと連携しながら、平成23、24年度の2ヵ年で市のホームページを再構築し、統一感があり、求める情報にすばやくアクセスできるなど、市民や事業者など利用者のニーズに応えられるものにしていく。あわせて、四日市に関連するキーワードにより、市のホームページが常に上位に掲載されるような工夫もしていく。

【主な事業】	広報刊行物発行費	71,856千円
	市政番組等制作費	20,095千円
	市政情報発信アドバイザー事業費	3,093千円
	情報発信強化事業費	4,300千円

5. 広聴施策の推進について

平成23、24年度で市内全地区において市民ニーズや地域の声を取り上げる場として、市長の政策懇談会を開催していく。また、「市政アンケート」や電子メールを利用した「市政ごいけんばん」のシステムを活用し、市政全般に対する市民の意識や要望などを的確に把握する。

また、アンケート等で把握した意見や要望を、各部局で速やかに分析したうえで、具体的な施策に十分反映させるように努める。

【主な事業】	市政アンケート事業費	1,688千円
	市政ごいけんばん事業費	328千円

6. シティセールスの推進について

首都圏における本市の魅力発信やシティセールスにつながる具体的な取り組みとして、アンテナショップへの展開を目指して、まずは都内の商店街等において、本市の地元産品を販売・PRする取り組みに着手する。

また、本市の地域活性化及び都市イメージ向上に資するよう、首都圏において産業、文化など各分野で活躍されている本市ゆかりの方を、アドバイザーとして委嘱するとともに、本市出身者や本市に関係の深い方々などと協働して、首都圏発の四日市の魅力発信に努める。

【主な事業】	シティセールス推進事業費	3,350千円
--------	--------------	---------

総合計画推進事業

1. 目的

平成23年度から32年度を計画期間とする新たな総合計画においては、目指すべき都市像を「みんなが誇りを持てるまち、四日市」として掲げ、都市像を実現するための5つの基本目標を設定し、重点的に取り組むべき施策を示している。

重点的な施策を推進するため、平成23年度から25年度までの3年間を計画期間とする第1次推進計画に具体的な事業を位置づけたうえで、的確な進行管理を図るとともに、庁内における議論を活発化させ、職員の政策立案能力の向上を目的として政策提案制度を設ける。

また、行政だけでなく市民や事業者と共に推進していく計画として、当計画をより多くの市民に周知し、推進に向けた意識の高揚を図る。

さらに、人口減少・少子高齢化が進行する中であっても、新たな社会経済情勢の変化や多様な市民・事業者のニーズに的確に対応していく必要があり、統廃合予定の学校施設や利用率が低く遊休化が想定される既存の公共施設などを有効に活用していくための調査・検討を行う。

2. 内容

(1) 総合計画推進事業

総合計画における重点的な施策を推進するにあたり、部局横断的な取り組みが必要な事業について、プロジェクトチームを編成し、具体的な施策の展開を図る。

また、総合計画に掲げた施策をより効果的に推進することができるよう、職員による政策提案制度を設け、意欲ある職員の柔軟な発想を取り入れた事業を推進する。

調査研究事業費 2,000千円

政策提案事業費 974千円

(2) 総合計画推進事業（周知・啓発）

策定した計画の実効性を高めるために、市民、各種団体、企業等の方々に周知・啓発していくことが重要であり、シンポジウムの開催や市民にわかりやすい冊子の作成などを行う。

周知啓発事業費 1,655千円

(3) 公共施設有効活用調査検討事業

学校規模適正化により統廃合予定の学校施設など今後遊休化が予想される公共施設や、社会情勢の変化に伴い、市民や事業者のニーズに対応する観点から、用途を見直す必要がある公共施設について、社会状況や市民・事業者のニーズに対応できるよう、施設の有効活用方法などの調査・検討を実施する。

公共施設有効活用調査検討事業費 3,000千円

3. 予算額 7,629千円 (財源内訳) 一般財源 7,629千円
(前年度 11,870千円)

担当 政策推進部 政策推進課
荒木、田中
354-8112

(新) 市政情報の発信強化について

1. 目的

市内外に、より効果的に情報発信するため、専門的な知識や経験を活かした新しい視点からのアドバイスをいただける委員を公募し、本市独自の先進的な広報戦略を検討し、展開していく。

また、それらの検討と連携しながら、平成23、24年度の2カ年で市ホームページを市民や事業者など利用者のニーズに応えられるものに再構築する。

これらの取り組みにより、市政情報の発信強化と提供内容に対する利用者の満足度を向上させ、都市としてのイメージアップにつなげていく。

2. 内容

(1) 市政情報発信アドバイザー事業 3,093千円

市政情報発信アドバイザーを3人委嘱し、月2回、広報戦略会議に参画いただく。また、月1回、委員とは別途、先進事例や新しい視点からの広報戦略の助言を受けるための有識者などを招聘する。

(2) 情報発信強化事業 4,300千円

市ホームページの中で過去に作られ、現状に合わないコンテンツ等を改善するとともに課題の洗い出しも行い、ホームページをより使いやすく、求める情報にすばやくアクセスできるように再構築する。あわせてインターネット検索する場合に四日市に関連するキーワードによって市のホームページが常に上位に掲載されるよう工夫していく。

3. 予算額 7,393千円 (財源内訳) 一般財源 7,393千円 (前年度 0千円)

担当 政策推進部 広報広聴課
伊藤、森
354-8244

シティセールス推進事業

1. 目的

首都圏における四日市の魅力発信や地元製品の宣伝を行うため、継続的な情報発信に努めるとともに、四日市市ゆかりの人材を活かしてシティセールスアドバイザーを委嘱するほか、本市出身の方々などと協働して本市の地域活性化や都市のイメージ向上に取り組んでいく。

2. 内容

(1) シティプロモーション事業 1,455千円

シティセールスにつながる具体的な取り組みとして、アンテナショップへの展開を目指し、全国から注目される都内の商店街等においてPRの機会をもつなどして、本市の魅力発信や地元製品の販路開拓等に努め、本市のイメージと認知度を高めていく。

(2) シティセールスアドバイザー事業 1,895千円

東京事務所の立地とネットワークを活かし、首都圏において各分野で活躍されている本市ゆかりの方を地域活性化アドバイザーとして委嘱し、産業の高度化や活性化、文化・芸術のまちづくりなど、本市の地域活性化並びに都市イメージ向上に資するアドバイスを頂き、市の各種施策につなげていく。

3. 予算額

3,350千円 (財源内訳) 一般財源 3,350千円
(前年度5,069千円)

担当 政策推進部 東京事務所
岡田・大橋
03-3263-3038

総務部

新年度予算における基本的な方針

一人ひとりの人権が尊重されるまちを目指し、人権・同和行政についての各種の答申を踏まえた施策の推進を図る。

また、公正かつ効率的な行政運営を推進するため、法務管理、文書管理や入札契約制度、工事検査などの各種の内部管理業務を適切に執行する。

人事管理面では、平成23年度から新総合計画に基づく新たなまちづくりがスタートすることから、市民と行政が一体となってまちづくりを進める協働の時代に対応した多様な研修を行い、長期的な展望に立って、かつ、市民目線で高い職務遂行能力を発揮することができる職員の養成を図る。

情報管理面では、電子自治体への取組みを進め、市民窓口を支援する住民情報システム機器の更新を行うなど、より迅速かつ確実なシステム運用を図り、市民の利便性向上に資する。

1. 人権施策の推進について

平成16年3月の四日市市同和対策委員会からの答申「今後の同和行政のあり方について」や平成19年8月の四日市市同和行政推進審議会からの答申「今後の同和行政のあり方について(答申)」の具体化を図るための仕組みについて」など、各種の答申を踏まえた施策の推進を図る。

さらに、地域における人権教育・啓発・学習の拠点である人権プラザの利便性、安全性の向上を図るため、バリアフリー化工事を含めた施設改修を行い、市民利用を促進する。

【主な事業】	人権教育・啓発推進事業	16,740千円
	人権相談体制強化事業	1,040千円
	人権啓発リーダー養成事業	2,248千円
	人権プラザ就業支援事業	4,156千円
	人権活動拠点施設整備事業	39,611千円

2. 職員研修の充実について

本市を取り巻く社会経済情勢の著しい変化や地方分権の進展等の行政課題に適切に対応するとともに、職場の活性化及び市民から信頼される職員の育成を図るため、職員の各階層に応じた職務遂行能力を高めるための階層別研修において、市民満足度向上研修、政策法務研修、簿記財務研修等を実施するほか、特別研修(実務・専門研修)では、危機管理意識養成研修、問題解決・発想力パワーアップ研修等を実施し、職員の法令遵守意識の向上や意識

改革を進める。また、団塊の世代の職員の大量退職に伴い、市民サービスの低下を招くことのないよう、専門性が求められる技術系職員の知識、技能、技術力等の向上を図るため研修内容の充実に努める。さらに、派遣研修では、自治大学校、市町村アカデミー、三重県自治会館組合、技術系職員研修機関等の外部研修機関へ職員を派遣し、職員のさらなる資質の向上と意識の改革を図っていく。

【主な事業】	階層別研修費	8,767千円
	特別研修費	2,734千円
	派遣研修費	7,908千円

3. 情報化の推進について

住民情報システムなどの市民窓口を支援するシステムや公共施設の施設予約システムなど、市民の利便性向上に資する各種システムや、行政内部の事務効率化を図る行政内部システムの保守運用管理を行い、システムの安定運用を図る。

平成 23 年度は、平成 22 年度に引き続き住民情報システム機器の更新作業を行うとともに、保健福祉総合システム等個別システム機器の更新を行い、より迅速かつ確実なシステム運用の維持に努める。

【主な事業】	窓口支援システム保守運用事業	181,267千円
	行政内部の IT 基盤整備事業	317,338千円
	行政サービスの IT 化事業	16,768千円
	行政内部の IT 化事業費	33,311千円

4. 入札契約制度について

業務委託や公共工事等の入札契約制度については、各種の取り組みを実施するとともに、競争性及び客観性の確保並びに透明性の向上を図り、その執行を適正に行う。

また、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」の趣旨に基づき、平成 20 年度から試行している総合評価方式についても、引き続き実施する。

5. 工事検査について

「公共工事の品質確保の促進に関する法律」が平成 17 年 4 月 1 日に施行され 5 年が経過するが、発注者の責務として工事中及び完成時の施工状況の確認及び評価を適切に実施することがより一層求められている。このため、施工途中における監督員の段階確認を確実に実施するよう指導に努め、適正な履行を確認するための工事検査を行うとともに、請負者の技術能力を測る指

標のひとつとして、履行状況について適切な評価を与える。

なお、完成検査時に検測や確認のできない不可視部分の出来形や品質について、随時検査を実施しているが、品質確保の観点から指導を行う等、より充実した内容とする。

6. 統一地方選挙の執行について

平成 23 年 4 月 10 日執行の県知事選挙、県議会議員選挙、平成 23 年 4 月 24 日執行の市議会議員選挙を適正に執行する。

【主な事業】	県知事選挙費	39,900千円
	県議会議員選挙費	16,781千円
	市議会議員選挙費	142,297千円

人権教育・啓発推進事業

1. 目的

市内各地域における住民の人権啓発活動に対する支援や、全市的な人権啓発活動である「じんけんフェスタ」の充実を図るとともに、地域の人権啓発活動を効果的に進めるための「人権教育・啓発推進プログラム」を分野ごとに、体系的に作成し、住民主体の人権啓発活動の推進を図り、本市における人権意識の向上を図る。

2. 内容

(1) 市民人権活動支援事業

積極的に社会人権教育を展開している各地区人権・同和教育推進協議会等への委託業務を拡充するとともに、人権に関する全国規模の研究会、研修大会での市民の学習を支援する。

各地区人権・同和教育推進事業

各地区人権協及び各ブロック単位での教育・啓発・広報活動の委託、並びに複数の地区人権協や複数のブロックによる広域の啓発・交流活動や調査・研究活動の委託

市民人権学習支援事業費補助金

全国規模の研究会、研修大会（現在 13 種類）への参加経費（参加費、交通費、宿泊費）の一部補助（一般：1/2、学生：4/5）

(2) 人権教育・啓発推進プログラム事業

人権教育・啓発活動における指導的役割を担える人材育成や各種の学習活動に寄与するため、各種の人権課題ごとに、人権に対する関心度や理解度等に応じた教材や学習マニュアル等の作成及び充実を行う。

(3) 人権フェスタ事業

12月の人権週間に合わせて、文化会館を会場に「じんけんフェスタ」を開催し、人権講演会や、本市及び市内人権啓発活動団体の人権に係る取り組みを紹介する「人権のひろば展」を実施する等、広く市民に対して人権を考える機会を提供する。

3. 予算額 16,740千円 (財源内訳) 一般財源 13,600千円
(前年度 12,515千円)

担当 総務部 人権センター
渋谷
: 354 - 8157

財 政 経 営 部

新年度予算における基本的な方針

新たに策定した四日市市総合計画(平成23年度～平成32年度)の初年度にあたり、当初予算編成にあたっては、5つの基本目標の達成に向けた推進計画事業を着実に実施する。

また、その下支えとして、新たな行財政改革プランを策定し、中期の財政見通しの視点から、健全で持続可能な財政運営のための目標を定めて、財政規律の堅持に努める。

さらに、財源の確保を図るため、市税については、市民負担の公平性の観点から、収納率の向上を図り、納税者に税制度の十分な理解が得られるよう周知・広報を行うとともに、課税対象者の的確な把握に努め、公平かつ適正な課税を行う。さらに引き続き滞納対策の強化に取り組むことによって、累積滞納額の削減に努める。市税以外については、ふるさと応援寄附金、広告収入の拡大、保有資産の活用や売却の推進など、あらゆる分野において財源の確保に努める。

1. 健全な財政運営の推進について

総合計画の推進計画を着実に実施するため、行財政改革プランにおける新たな財政運営の指針に基づき、健全な財政運営に努める。

また、平成24年度の予算編成においては、厳しい経済情勢の中にあって、推進計画事業を実効性のあるものとするため、これまでとおり「選択と集中」による施策の展開を図るとともに、行財政改革を着実に推進することを基本とし、予算編成方針を定める。

【主な事業】 財政管理経費

5,166千円

2. 行財政改革等の推進について

行財政改革プラン(23年度～25年度)に基づき、総合計画の推進計画の着実な推進と財政収支の均衡を図る。

また、今後の公共施設の利活用や長寿命化について、公共施設マネジメント白書に基づき各施設のデータ分析を行い、長寿命化計画につなげるとともに、指定管理者制度については、モニタリングを十分行う中で、今後の制度の方向性を検討する。

【主な事業】 行財政改革推進費

16,327千円

3. 市税等徴収の強化について

市税滞納については、引き続き十分な納付交渉、効率的な滞納整理を行い、市税収納率の向上を図るとともに、個人市県民税の滞納の増加に対する対策として、平成22年度に引き続き、三重県及び県内全市町が連携して、特別徴収をしていない事業所に対し、「特別徴収への切り替え」を働きかけていく。

税外債権については、所管課へ滞納整理に関する助言、指導を行うとともに、徴収困難として、所管課から移管を受けたな案件の滞納整理を、引き続き行い、滞納額の削減に努める。

また、納税者の利便性の向上を図るため、軽自動車税に導入したコンビニ納税について、平成24年度から市県民税、固定資産税・都市計画税の税目を追加するための準備を行っていく。

【主な事業】	自主納税推進経費等(コンビニ納税税目追加対象分)	14,048千円
	税外債権滞納整理事業費	13,998千円

4. 公共施設ストックマネジメント事業について

本庁舎や総合会館について、空調設備や消防防災関連設備の不具合など、老朽化による設備の劣化が見られ、施設管理、防災管理上の大きな問題となっている。

そのため、総合計画の推進計画で位置づけた事業として、ストックマネジメントによる計画的な施設・設備の更新を実施し、施設を安全に維持するとともに、維持管理経費の低減や施設(建物)の長寿命化を図る。

【主な事業】	公共施設ストックマネジメント事業費	157,722千円
--------	-------------------	-----------

5. 新たな財源の確保について

ふるさと応援寄附金、広告収入の拡大、保有資産の活用や売却の推進など、あらゆる分野において財源の確保に努めます。

【主な事業】	ふるさと応援寄附金「感謝の気持ち」事業	250千円
--------	---------------------	-------

(新)ふるさと応援寄附金「感謝の気持ち」事業

1. 目的

ふるさとを応援したい、貢献したいと考える四日市市出身の方が使いやすい制度となるよう、ふるさと応援寄附金に対し、感謝の気持ちとして地場産品を贈呈する。

2. 内容

5千円以上のふるさと応援寄附をしていただいた方へ、地場産品(萬古焼、水沢茶、地酒等)を贈呈する。

3. 予算額 250千円 (財源内訳) 一般財源 250千円
(前年度 0千円)



地場産品イメージ

担当 財政経営部 財政経営課
大原、中村
TEL 354 - 8130

(新) 公共施設ストックマネジメント事業
(市庁舎・総合会館)

1. 目的

本庁舎、総合会館については、建設後相当年数が経過しており老朽化が顕著である。特に、空調設備や消防、防災関連設備の不具合など、施設の基幹部分に劣化が見られ、施設管理、防災管理の上で問題となっている。このままでは、設備単体だけでなく、施設（建物）全体へ悪影響を及ぼす可能性がある。

そこで、ストックマネジメントによる計画的な施設・設備の更新を実施し、施設を安全かつ快適に維持するとともに、維持管理経費の低減や施設の長寿命化を図る。

2. 内容

総合会館チラーユニット更新工事
総合会館誘導灯更新工事
市庁舎各種機器類制御盤更新工事
市庁舎屋上防水等改修工事

3. 予算額 157,722千円 (財源内訳) その他特財 35,875千円
(前年度 0千円) 一般財源 121,847千円

チラーユニット 冷水を冷媒とする冷房装置の冷熱源として用いられる水冷却装置



図1. 総合会館外観



図2.チラーユニット

担当 財政経営部管財課
森
354-8288

市 民 文 化 部

新年度予算における基本的な方針

市民一人ひとりが、安心を実感でき、元気と魅力にあふれ、人とのつながりや温かさを感じることでできる絆のある地域社会の実現を目指し、市民や市民団体等と協働・連携を図りながら、その個性と能力を十分発揮できるような環境づくりに取り組むとともに、市民生活に潤いと豊かさをもたらす文化の向上を目指したさまざまな取り組みや市民への支援を行っていく。

さらに、市民一人ひとりが地域社会の構成員として共に生きることができるよう、男女共同参画社会および多文化共生社会の実現を目指していく。

1. 地域社会づくりについて

多様化かつ複雑化する地域課題に対応していくため、市民主体の地域社会づくりを推進する。

(1) 市民一人ひとりの地域活動への参加を促進するため、地域社会づくり総合事業費補助金や個性あるまちづくり支援事業により積極的に市民活動を支援し、自治会やNPO、ボランティアといった市民活動団体の育成、活性化を促進し、市民力や地域力の向上につなげていく。

(2) 退職後の団塊の世代など、地域で暮らす多様な技能を持つ人材を有効活用するため、地域づくりマイスター養成講座による人材育成や、地域の課題解決に向けたニーズと人材のマッチングを図る事業を行う。

さらに、市民、市民活動団体、行政が対等な立場で市民協働の促進について議論し、市職員をはじめ市民の市民協働に関する意識のより一層の高揚に努める。

【主な事業】個性あるまちづくり支援事業	13,439千円
地域づくりマイスター養成事業	500千円
まちづくり人材マッチング事業	1,500千円
地域社会づくり総合事業費補助金	81,000千円
地区市民センター住民運営推進事業	66,345千円

2. 安全なまちづくりについて

夜間における犯罪の発生を防止し、安全なまちづくりを進めるため、自治会が管理する防犯外灯の設置・修繕費及び電気代に対し補助金を支出している。この防犯外灯について、設置・修繕費の負担軽減や地球温暖化の原因で

ある温室効果ガス排出量を削減することを目的に、新たにLED防犯外灯に対する補助を設けLED化を促進する。

また、子どもの見守り活動をはじめとする、住民による自主防犯活動については、本年度も引き続き、「個性あるまちづくり支援事業（防犯枠・子ども見守り枠）」の積極的な活用を呼びかけるなどして、自主防犯活動団体の拡充を図り、全市的な視点から安全・安心なまちづくりを推進する。

【主な事業】防犯外灯新設維持費補助金	99,187千円
個性あるまちづくり支援事業（防犯枠・子ども見守り枠）	2,500千円
	（13,439千円のうち再掲）

3. 市民相談・消費生活相談事業について

安全・安心な市民生活が送れるよう、日常生活上の問題、多重債務問題、消費生活トラブルに関する相談に応じ、市民が自主的に解決できるよう支援する。そのため、弁護士など専門家による特別市民相談の体制充実も図っていく。また、消費生活の出前講座などを実施し、消費者被害の未然防止にも努める。

【主な事業】市民相談室運営費	2,166千円
消費生活相談事業	6,883千円

4. 文化振興について

文化会館が本市の芸術文化活動の中心的役割を担い、常に市民に快適に利用していただけるよう、設備の更新工事やバリアフリー化を計画的に進める。また、指定管理者と連携し、市民各層の多様なニーズに応えるよう芸術の鑑賞や創造の機会の充実を図るとともに、利用者サービスの向上に努める。

さらに、文化振興基金を活用し、市民が民間の文化施設で開催する芸術文化事業に対する支援の充実を図り、活動の場づくりの多様化を進める。

【主な事業】文化会館施設整備事業	11,536千円
公共施設ストックマネジメント事業	28,464千円
文化会館等管理運営費	221,947千円
民間文化施設文化活動支援事業	600千円

5. 生涯学習活動支援について

市民の企画運営などによる多様な内容で市民大学を開催し、市民に学習の機

会を提供するほか、民間を含めた各種学習情報をホームページに掲載するなど、市民の生涯学習活動支援を積極的に行う。

また、地区市民センター講座については、地域課題に対応し、地域活動参加へのきっかけとなるよう、住民との協働による企画運営を進めていく。

【主な事業】	市民大学一般クラス経費	2,406千円
	市民大学熟年クラス経費	2,586千円
	地区市民センター生涯学習事業	4,982千円

6. 多文化共生社会づくりの推進について

四日市市多文化共生推進プランに基づき、外国人市民が日本で生活する上で必要な情報の提供、指定管理者による国際共生サロン事業、四日市国際交流センターや市民団体との連携による日本語習得支援や生活相談等を実施し、日本人と外国人の共生に向けた取り組みを進める。

特に、住民の約20%が外国人である笹川地区を多文化共生のモデル地区と位置づけ、多文化共生モデル地区担当コーディネーターを中心に、地域に密着して日本人住民と外国人住民の「顔の見える関係づくり」を築くための交流事業等に取り組んでいく。

【主な事業】	モデル地区共生推進事業	6,184千円
	多文化共生推進事業	7,097千円
	国際共生サロン管理運営費	10,290千円

7. 男女共同参画の推進について

男女共同参画審議会・男女共同参画推進庁内調整会議等との調整を図りながら、男女共同参画プランよっかいちおよび実施計画に掲げている男女共同参画施策を推進する。

また、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について、理解を深めるための講演会を行うとともに、企業経営者等を対象とした研修を実施する。

さらに、女性相談の対応件数が年々増加しており、中でもDVに関する相談の割合が非常に高くなっていることから、配偶者暴力対策基本計画の平成24年度策定に向けて、市民の意識および実態について、調査・研究を行う。

【主な事業】	学習機会提供事業	3,240千円
	配偶者暴力防止対策事業	1,900千円

8. 窓口サービスの効率化について

戸籍や住所異動の届出受付、戸籍や住民票の証明発行などの窓口業務について、個人情報データを正確かつ安全に管理し、市民の視点に立ったサービスの提供と、効率的な窓口業務を行う。

【主な事業】	戸籍住民基本台帳事務事業	193,710千円
	市民窓口サービスセンター運営費	4,947千円
	窓口サービスセンター調査研究事業	700千円

9. あさけプラザ事業について

あさけプラザは、開館後26年が経過し、計画的な改修工事を実施しているが、図書館空調設備の更新工事を行うほか、温室効果ガス排出量の削減を目指し、四日市市グリーンニューディール基金を活用して、施設の各種照明の更新工事等を行う。

また、広域対象の複合施設として、より多くの住民に利用していただけるよう、引き続き効果的・効率的な施設の管理運営に取り組む。

さらに、自主事業の見直しにより内容の充実を図るとともに、当館の積極的なPRに努める。

【主な事業】	施設管理運営費	71,682千円
	公共施設ストックマネジメント事業	12,000千円
	施設整備事業	24,200千円
	図書資料整備事業	1,250千円
	あさけプラザ運営協議会負担金	1,300千円

10. 楠総合支所について

楠総合支所は、楠地域における行政の窓口として戸籍・住民基本台帳に関する業務や各種相談業務を行うとともに、「楠地区まちづくり構想」実現のため、地域の特色を活かした「楠健康ふれあいフェスタ」をはじめとする、住民による自主・自立のまちづくり活動の支援や楠公民館や楠公民館図書室を中心とした生涯学習業務を行う。

また、合併特例法に基づき設置された地域審議会において、新市建設計画の進捗状況の管理等を行う。

【主な事業】	地域活性化事業	1,500千円
	地域審議会	237千円
	楠公民館事業	419千円
	楠公民館図書室事業	3,544千円

市民活動支援事業

1. 目的

「市民主体のまちづくり」を推進するため、市民が自主的に取り組む公益活動を支援し、地域コミュニティの充実を目指す。

2. 内容

- (1) 個性あるまちづくり支援事業 予算額 13,439 千円
市民の自主的な取り組みによる自立した地域社会づくりを推進し、活力ある四日市を創ることを目的として、市民による先駆的な夢のある公益活動を支援する。
- (2) 地域づくりマイスター養成事業 予算額 500 千円
地域において市民活動・市民協働を理解し携わる人材の育成とネットワークの構築を目的として講座を実施する。
- (3) まちづくり人材マッチング事業 予算額 1,500 千円
退職後の団塊の世代など、地域で暮らす多様な技能を持つ人材を有効活用するため、それら人材と地域ニーズとのマッチングを行う。

3. 予算額 15,439 千円 (財源内訳) 一般財源 15,439 千円
(前年度 15,863 千円)



四日市ウミガメ保存会
吉崎海岸の漂着ごみ等を多くの市民が清掃。
ウミガメが産卵できる環境づくりを目標に
環境への関心を高め、交流を深める。

担当 市民文化部市民生活課
松浦・岡本
354 - 8179

(新) 防犯外灯新設維持費補助金(LED化促進)

1. 目的

安全安心なまちづくりを進めるため、自治会が管理する防犯外灯のLED化を促進し、維持管理費の負担低減や地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量低減を図る。

2. 内容

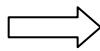
(1) LED化補助の新設

LED灯の新設・交換について、補助率60%(10%アップ)、補助上限20,000円(6,000円アップ)とすることで、費用負担の軽減を図る。

<従来>

防犯外灯の新設・機器交換

補助率	50%
補助上限	14,000円



<LED化補助>

LED灯の新設・機器交換

補助率	60%
補助上限	20,000円

蛍光灯型の補助率は従来どおり

(2) LED化補助を活用するメリット

初期投資費の負担減・・・補助率、補助上限の増による費用負担軽減

維持管理費の負担減・・・電気代約 30%

蛍光管切れに伴う交換の手間や交換費用の低減

環境負荷の低減・・・CO2排出量約 60%

(メーカー公表値等に基づく)

3. 予算額 99,187千円 (財源内訳) 一般財源 99,187千円

(前年度 85,000千円)

うちLED化補助分 30,000千円



担当 市民文化部市民生活課
松浦
354-8179

(新) 公共施設ストックマネジメント事業 (文化会館・茶室)

1. 目的

既存施設の長寿命化を図るため、計画的に整備や改修を行っていく公共施設ストックマネジメント事業により、文化会館及び茶室泗翠庵の設備の更新及び改修工事を行う。

2. 内容

- (1) 文化会館空調設備の機器を更新する。
文化会館吸収冷温水機用クーリングタワー改修工事
文化会館空調機・送風機ベアリング交換
- (2) 茶室泗翠庵の銅板屋根を改修する。
茶室泗翠庵屋根改修工事

3. 予算額 28,464千円 (財源内訳) 市債 18,900千円
(前年度 0円) 一般財源 9,564千円



担当 市民文化部文化国際課
南部
354-8239

多文化共生推進事業

1. 目的

南米日系人が多く居住する外国人集住都市として、民族や国籍が異なる市民が互いの個性を認め合い、共に支えあって暮らす「多文化共生社会」を目指す。

2. 内容

(1) モデル地区共生推進事業

予算額 6,184 千円

笹川地区において、平成 23 年 1 月に配置した多文化共生モデル地区担当コーディネーター 2 名を中心に、地域団体等の協力を得ながら、外国人リーダー育成事業や交流事業、日本語学習支援事業などにより、外国人の地域活動への参加促進を図り、日本人住民と外国人住民の「顔の見える関係づくり」に取り組む。さらに、外国人の子ども向け日本語習得・家庭学習支援を充実させ、定員を増やしてより多くの児童が参加できる笹川子ども教室（仮称）を実施する。



多文化共生講演会

「外国人が地域の力になるまちづくり」

(2) 多文化共生推進事業

予算額 7,097 千円

外国人市民に正確に情報を伝えるために、日本での生活ルール等を母語で説明する生活オリエンテーション、行政窓口での通訳対応、翻訳による情報の多言語化等に努める。

(3) 国際共生サロン管理運営事業

予算額 10,290 千円

多文化共生推進の拠点として、(財)四日市市まちづくり振興事業団の指定管理により、日本語教室、外国人向け生活相談、交流事業を実施する。

3. 予算額 23,571 千円 (財源内訳) 一般財源 23,571 千円
(前年度 19,535 千円)

担当 市民文化部文化国際課
永田・内田・浅野
354 - 8114

女性相談・(新)配偶者暴力防止対策事業

1. 目的

女性の抱える悩みや問題を解決するため、女性相談及び専門家による法律相談等を実施する。

また、配偶者からの暴力の防止や、被害者及びその同伴する児童等の保護、自立に向けた生活支援を関係機関と連携しながら効果的・総合的に実施することを目的とする。

2. 内容

(1) 女性相談事業

多様化・専門化する相談内容に対応するため、弁護士による法律相談を行うほか、センター相談員の資質向上を目的とする研修、市民を対象としたDV防止講演会等を実施する。

(2) 配偶者暴力防止対策事業

配偶者暴力防止基本計画の策定に向け、必要なアンケート調査、聞き取り等を実施する。

3. 予算額

【女性相談事業】

予算額 1,405千円 (財源内訳) 国庫支出金 1,405千円
(前年度 1,734千円)

【配偶者暴力防止対策事業】

予算額 1,900千円 (財源内訳) 一般財源 1,900千円
(前年度 0円)



デートDV防止講演会

担当 市民文化部男女共同参画課
今井
354-8331

(新) 窓口サービスセンター調査研究事業

1. 目的

これからの窓口サービスのあり方について、市民を対象としたアンケート調査を実施し、市民にとってどのような形態の窓口が最も有効かつ効果的であるのか、費用対効果の検証も含め研究する。

また、調査結果を踏まえ、市民サービス向上を図るために必要となる対策・手法の検討をする。

2. 内容

窓口サービスセンターの開設を検討していくにあたり、市民のニーズや現在の利用状況を正確に把握するため、無作為抽出によるアンケート調査および駅前窓口サービスセンター利用者へのアンケート調査を実施する。

無作為抽出によるアンケート調査	予算額	400 千円
駅前窓口サービス利用者へのアンケート調査	予算額	300 千円

3. 予算額	700 千円	(財源内訳) 一般財源	700 千円
(前年度	0 円)		



市民窓口サービスセンター（近鉄四日市駅内）

担当 市民文化部市民課
杉本
354 - 8152

(新) 公共施設ストックマネジメント事業
(あさけプラザ)

1. 目的

既存施設の長寿命化を図るため、計画的に整備や改修を行っていく公共施設ストックマネジメント事業により、住民の文化、教養、スポーツ、福祉等の活動および交流の場として、その機能を将来にわたって維持できるよう、施設・設備を計画的に改修・更新する。

2. 内容

住民が、安全・安心に、また快適に施設利用ができるよう、図書館の空調設備更新工事を行う。また、本事業については、温室効果ガス排出量の抑制効果が見込まれるため、四日市市グリーンニューディール基金を活用して実施する。

3. 予算額	12,000千円	(財源内訳)	その他特財	10,000千円
(前年度	0円)		一般財源	2,000千円



あさけプラザ図書館

担当 市民文化部あさけプラザ
山中・田中
363-0123

地域活性化事業

1. 目的

楠地区の特色を活かした住民による自主・自立のまちづくりを進めるため、地区住民が取り組み策定した「楠地区まちづくり構想」の実現に向けた支援を行い、地域の活性化を促す。

2. 内容

(1) 楠健康ふれあいフェスタ 予算額 1,000 千円
楠地区の各団体で実行委員会を組織し、手づくりで企画・運営を行い多数の市民が参加するなど、コミュニティの活性化と他地区市民との交流に大きく寄与している「楠健康ふれあいフェスタ」に対して、支援を行う。

(2) 楠まちづくり実施計画策定 予算額 500 千円
合併した楠地区が、新たな環境の中で、「みんなでつくる うるおいのまち・楠」を目指し、住民により策定した「楠地区まちづくり構想」を実現するための実施計画（アクションプラン）策定に対して、支援を行う。

3. 予算額 1,500 千円 (財源内訳) その他特財 1,000 千円
(前年度 2,000 千円) 一般財源 500 千円



楠健康ふれあいフェスタ



田んぼアート

担当 市民文化部楠総合支所
山中
398 - 3111

福 祉 部

新年度予算における基本的な方針

わが国では、高齢化や少子化が急速に進み、人口減少と超高齢社会へと突入している。こうした情勢を背景に、国は子ども手当や父子家庭への児童扶養手当の支給を平成 22 年度から開始した。また、幼保一体化の「こども園（仮称）」や「障害者総合福祉法（仮称）」の創設が検討されているなど、国の福祉制度は大きく変わろうとしている。

そのような中、本市にあっては、新たな総合計画が策定されたことにより、新年度から「第一次推進計画」による事業がスタートするが、児童福祉では、子ども医療費（乳幼児医療費）助成の拡大や「次世代育成支援後期行動計画」に基づき、特別保育、児童虐待防止等の子育て支援策を推進する。また、高齢福祉にあっては、「第 4 次介護保険事業計画・第 5 次高齢者福祉計画」に基づいて、在宅介護の充実や医療との連携を図るなど要介護高齢者の支援に努める。障害福祉にあっては「第 2 次障害者計画」や「後期障害福祉計画」に基づき、障害のある人の地域における自立生活を支援するとともに、地域福祉では「第 2 次地域福祉計画」に基づいて、福祉人材の育成に努め、成年後見制度の取り組みを進めていく。

1．児童福祉について

次代の社会を担う子どもが健やかに育つ環境を整えるため「次世代育成支援後期行動計画」に掲げる様々な子育て支援の施策を推進する。

具体的な施策として、乳児保育や延長保育、特定保育、一時保育、休日保育、病児・病後児保育などの特別保育サービスの提供に努めるとともに、公立保育園 2 ケ所の耐震補強工事や園舎整備を必要とする社会福祉法人に対する支援を行い保育環境の整備を行う。

子育て家庭への支援については、従来の乳幼児医療費助成を就学前から小学校修了まで拡大する。また、保育園併設型の子育て支援センターを 1 ケ所拡充し、安心して子育てできるように相談や情報提供を行うほか、遊びの場や保護者同士の交流の場の提供を行う。

子どもの虐待防止については、子どもの虐待防止とDV防止を目的としたネットワーク会議の一体的運用を行うことで、地域や関係機関とのより一層の連携を図り、虐待の未然防止、早期発見・対応に努める。

発達遅れのある子どもへの対応については、あけぼの学園において引き続き療育を行うとともに、今後のあけぼの学園のあり方について検討を進める。

母子家庭の生活の安定と自立を促すため、適宜、母子生活支援施設の活用を検討するとともに、引き続き母子家庭自立支援給付金事業を実施していく。また、母子自立支援プログラムの策定を行い、公共職業安定所（ハローワーク）

と連携して母子家庭の就労による自立の支援を行う。

【主な事業】民間保育所延長保育事業	129,131千円
民間保育所乳児保育促進事業	15,700千円
民間保育所特定保育事業	30,681千円
民間保育所一時保育事業	15,552千円
民間保育所休日保育事業	12,108千円
病児・病後児保育事業	16,664千円
地域子育て支援拠点事業費補助金	34,005千円
保育所整備事業	67,700千円
民間保育所整備事業	333,600千円
ファミリー・サポート・センター事業	10,296千円
児童虐待防止対策事業	1,220千円
母子家庭自立支援給付金事業	94,831千円
子ども手当	7,622,000千円
児童扶養手当	1,067,500千円
子ども医療費助成事業	494,300千円
不妊治療医療費助成事業	23,800千円

2. 介護保険事業・高齢者施策について

本市の65歳以上人口は、平成22年10月1日現在、66,347人であり、高齢化率も21.1%となるなど、年々高齢化が進行している。その中で、高齢者が住み慣れた地域で暮し続けられる「安心と生きがいある長寿社会」を実現するため、「第4次介護保険事業計画・第5次高齢者福祉計画」に基づき高齢者施策を推進し、同時に次期計画の策定を行う。

重点的に取り組む施策として、25ヶ所の在宅介護支援センターに高齢者相談事業を引き続き委託するとともに、医療と介護の連携が確保されるよう体制の整備を図り、在宅での介護を支援する。

また、地域の中核機関である3ヶ所の地域包括支援センターにおいては、在宅介護支援センターとの関係強化を図りながら、地域のケアマネジャーが抱える困難事例の相談事業、高齢者の権利擁護に関する事業（高齢者虐待、成年後見制度利用）などの支援を行うことにより、本市特有の三層構造のサービスネットワークを充実させていく。

さらに、一人暮らし高齢者の見守り支援としての訪問給食事業、家族介護の負担軽減を目的としたおむつ支援事業、要支援・要介護状態になることや重度化の予防・改善を図るための介護予防事業、今後一層必要性が高まる認知症高齢者支援事業などを推進する。

一方、一人暮らしなど在宅での介護が困難な事例も増加していることから、特別養護老人ホームをはじめとする入所施設の整備も計画的に行っていく。

【主な事業】	在宅介護支援センター事業	131,745千円
	地域包括支援センター事業	142,774千円
	訪問給食事業	48,048千円
	おむつ支援事業	83,683千円
	介護予防事業	109,349千円
	民間社会福祉施設等整備助成事業(高齢分)	498,924千円
	介護給付費	15,665,906千円

3. 障害者福祉について

「第2次障害者計画」、「後期障害福祉計画」に基づき、障害のある人が地域で安心して自立生活・社会生活を営めるよう、障害者施策を推進する。

具体的な施策として、介護給付費、訓練等給付費のほか、自立支援医療費及び補装具費などの自立支援給付事業について、その利用の状況や各施設の新体系への移行の動向を把握し、安定した障害福祉サービス提供体制の整備に努める。

また、地域生活支援事業については、障害のある人の地域での生活を支援するため、相談支援事業の強化に努めるとともに、日常生活用具等給付事業や移動支援事業、日中一時支援事業などの充実を図る。

なお、入所児童の処遇向上、在宅支援のために民間が実施する老朽化した知的障害児施設(児童棟)の整備に対し、支援を行う。

【主な事業】	居宅介護等事業	235,000千円
	生活介護事業	1,193,100千円
	旧法施設支援事業	209,400千円
	自立支援医療費	297,090千円
	補装具費	48,000千円
	相談支援事業	39,906千円
	日常生活用具等給付事業	51,000千円
	移動支援事業	26,465千円
	日中一時支援事業	22,500千円

4. 生活保護について

保護の状況は、平成7年(4.6‰、受給世帯940世帯)から毎年増加傾向の中、平成20年末の世界同時不況以降急激な増加が止まらず、平成22年12月末現在で、保護率は12.4‰、受給世帯は2,702世帯に達している。

最近の雇用情勢には一部改善の兆しはあるものの、楽観できない状況が続くものと見込まれるため、引き続き生活支援専門相談員や就労支援員を配置し、きめ細かい相談と保護の適正実施、就労指導による自立を図っていくとともに、

住宅手当緊急特別措置事業を活用しながら、生活困窮者への適正な支援を行う。

【主な事業】	扶助費	6,840,000千円
	住宅手当緊急特別措置事業	32,300千円
	セーフティネット支援対策等事業	5,809千円

(新) 子ども医療費(乳幼児医療費)全額助成拡大

1. 目的

子育て世代の家庭に対して医療費を助成することにより、子どもの疾病の早期発見と早期療養を促進し、保護者の経済的負担の軽減と子どもの健全な育成を図ります。

2. 内容

現在、乳幼児医療費助成は、小学校就学前までの子どもを対象として、医療保険適用診療の自己負担分を、所得が制限額未満の保護者に全額助成していますが、平成23年9月診療分から小学校修了前まで対象年齢を拡大します。

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
受給資格者数 (うち拡大分)	17,500人	33,500人 (16,000人)	33,500人 (16,000人)

3. 予算額

(1) 子ども医療費助成 494,300 千円 (財源内訳) 県支出金 195,200 千円
(前年度 404,000 千円) 一般財源 299,100 千円

(2) 医療費証明書料 55,165 千円 (財源内訳) 県支出金 23,000 千円
(前年度 45,942 千円) 一般財源 32,165 千円

【参考】うち子ども医療費全額助成拡大分所要額

(1) 子ども医療費助成 103,900 千円 (財源内訳) 一般財源 103,900 千円

(2) 医療費証明書料 9,165 千円 (財源内訳) 一般財源 9,165 千円

担当 福祉部福祉総務課
上村

354 - 8163

子ども手当

1. 目的

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援するために、中学校修了までの子どもを養育している者に手当を支給する。

2. 内容

- (1) 市内対象児童数 約 45,000 人
- (2) 3歳未満の子ども一人につき月額2万円、3歳以上中学校修了前までの子ども一人につき月額1万3千円を父母などに支給する
- (3) 所得制限は設けない
- (4) 子どもに対しても国内居住要件を設ける(留学中の場合等を除く)
- (5) 支給月は、平成23年6月、10月、平成24年2月
- (6) 児童手当分を児童手当法の規定に基づき、国、地方、事業主が費用負担し、それ以外の費用については、全額を国庫が負担

3. 予算額

7,622,000 千円	(財源内訳)	国庫支出金	6,123,800 千円
(前年度 6,240,000 千円)		県支出金	749,100 千円
		一般財源	749,100 千円

担当 福祉部福祉総務課
上村

3 5 4 - 8 1 6 3

特別保育事業の充実

1. 目的

「次世代育成支援後期行動計画」に基づき、多様な保育サービスのより一層の充実を図り、子どもを「産み」「育てる」ためのより良い環境づくりを目指す。

2. 内容

(1) 乳児保育や 11 時間の開所時間を超えて実施する延長保育、週 2、3 日利用できる特定保育、仕事や病気、用事がある時などに利用できる一時保育、日曜・祝日に働く保護者のための休日保育、児童が病気回復期に利用できる病児・病後児保育の特別保育サービスを提供する。

特別保育実施園数

	乳児保育	延長保育	特定保育	一時保育	休日保育	病児保育	計
平成 21 年度	30	22	10	11	1	1	75
22 年度	30	22	11	11	1	1	76
23 年度	30	22	14	14	2	1	82

3. 予算額

219,836 千円 (財源内訳)	国庫支出金	9,044 千円
(前年度 226,917 千円)	県支出金	96,106 千円
	その他特財	7,407 千円
	一般財源	107,279 千円

担当 福祉部 児童福祉課
伊藤

354 - 8173

(新)知的障害児施設建設費補助金

1. 目的

老朽化した知的障害児施設(児童棟)の整備、改修を行うため、四日市市民間社会福祉施設整備費補助金交付要綱に基づいて施設建設費の一部を補助し、入所児童の処遇向上を図る。

2. 内容

- | | |
|------------|--|
| (1) 施設名 | 知的障害児施設 聖母の家 |
| (2) 設置・運営 | 社会福祉法人 聖母の家 |
| (3) 予定地 | 四日市市波木町330番地1 |
| (4) 規模・構造 | 延床面積2286.56㎡
鉄筋コンクリート造2階建 |
| (5) 定員 | 入所 55名
ショートステイ 5名 |
| (6) 開設予定 | 平成24年4月 |
| (7) 総事業費 | 607,428千円 |
| (8) 国補助金額 | 237,162千円 |
| (9) 県補助金額 | 118,581千円 |
| (10) 市補助金額 | 88,935千円 |
| (11) 交付方法 | 分割交付 平成23年度 50,000千円
平成24年度 19,467千円
平成25年度 19,468千円 |

3. 予算額

50,000千円 (財源内訳) 一般財源 50,000千円
(前年度 0千円)

担当 福祉部 障害福祉課
上田
354-8527

特別養護老人ホーム建設費補助金

1. 目的

常時介護を必要とし在宅での介護が困難な人を対象とする特別養護老人ホーム（定員30人以上）の整備を推進する。

2. 内容

四日市市民間社会福祉施設等施設整備費補助金交付要綱に基づき、施設整備に要する経費の一部を補助する。

(1) 対象者 社会福祉法人富田浜福社会
場 所 富田地区
定 員 80人
補助基準 県補助金(270,000千円)の1/8
補 助 額 33,750千円

(2) 対象者 社会福祉法人あがた福祉の会
場 所 県地区
定 員 30人
補助基準 県補助金(101,250千円)の1/8
補 助 額 12,656千円

3. 予算額 46,406千円 (財源内訳) 一般財源 46,406千円
(前年度 21,093千円)

担当 福祉部 介護・高齢福祉課
森

354 - 8425

(新)老人保健施設建設費補助金

1. 目的

病状が安定期にあり看護や医学的管理の下での介護を必要とする人を対象とする老人保健施設(定員30人以上)の整備を推進する。

2. 内容

四日市市民間社会福祉施設等施設整備費補助金交付要綱に基づき、施設整備に要する経費の一部を補助する。

対象者	医療法人正和会
場所	内部地区
定員	40人
補助基準	県補助金(25,000千円)の1/8
補助額	3,125千円

3. 予算額 3,125千円 (財源内訳) 一般財源 3,125千円
(前年度 0千円)

担当 福祉部 介護・高齢福祉課
森

354 - 8425

(新) サテライト型特別養護老人ホーム建設費補助金

1. 目的

常時介護を必要とし在宅での介護が困難な人を対象とする特別養護老人ホームのうち地域密着型の施設(定員29人以下)の整備を推進し、地域における介護拠点の充実を図る。

2. 内容

緊急経済対策による三重県介護基盤緊急整備等臨時特例基金を活用し、施設整備に要する経費の一部を補助する。

(1) 対象者 社会福祉法人徳寿会
場 所 富洲原地区
定 員 29人
補助基準 4,000千円/定員1人
補 助 額 116,000千円

(2) 対象者 社会福祉法人風薫会
場 所 中部(港)地区
定 員 29人
補助基準 4,000千円/定員1人
補 助 額 116,000千円

3. 予算額 232,000千円 (財源内訳) 県支出金 232,000千円
(前年度 0千円)

担当 福祉部 介護・高齢福祉課
森

354 - 8425

(新)ショートステイ施設建設費補助金

1. 目的

短期間入所して介護を受けるショートステイ施設を活用して在宅での介護を推進し、同時に在宅介護支援センターの機能強化を図る。

2. 内容

地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を活用し、施設整備に要する経費の一部を補助する。

(1) 対象者 社会福祉法人すずらん福祉会
場 所 橋北地区
定 員 10人
補助基準 2,000千円/定員1人
補 助 額 20,000千円

(2) 対象者 社会福祉法人風薫会
場 所 中部(港)地区
定 員 10人
補助基準 2,000千円/定員1人
補 助 額 20,000千円

3. 予算額 40,000千円 (財源内訳) 国庫支出金 20,000千円
(前年度 0千円) 一般財源 20,000千円

担当 福祉部 介護・高齢福祉課
森

354 - 8425

在宅介護支援センター事業

うち（新）在宅介護支援センター医療連携モデル事業

1. 目的

在宅で療養生活を送ることが一般化する中、医療的な知識や対応を求められる事例が増加しており、地域の身近な相談窓口である在宅介護支援センターにおいても、医療と介護のサービスを組み合わせた支援が適切に行われるよう体制を強化していく。

2. 内容

25カ所の在宅介護支援センターを核として、引き続き高齢者等の見守り・支援を充実させていくとともに、モデル事業として在宅介護支援センターのうち、訪問看護ステーションを併設するなど医療系サービスとの連携確保が見込まれる2カ所のセンターに、医療職の相談担当者を1名増員してその効果を検証し、在宅における医療と介護を推進するための体制づくりを行う。

委託料基本額	4,879千円 / 1カ所	対象	25カ所
医療職増員分	4,885千円 / 1カ所	対象	2カ所（富田、四郷）

3. 予算額 131,745千円（財源内訳） 一般財源 131,745千円
（前年度 108,174千円）

うち在宅介護支援センター医療連携モデル事業所要額

9,770千円（財源内訳） 一般財源 9,770千円

担当	福祉部 介護・高齢福祉課 森
	354 - 8425

(新) 在宅介護支援センター整備費補助金

1. 目的

地域の身近な相談窓口として定着している在宅介護支援センターの拠点整備を推進し、高齢者等の見守り・支援体制を一層充実させる。

2. 内容

未整備の地区において、在宅介護支援センターを新たに整備する法人を対象に、開設に要する経費の一部を補助する。

対象者	社会福祉法人すずらん福祉会
場所	橋北地区
補助基準	2,000千円 / 1施設
補助額	2,000千円

3. 予算額 2,000千円 (財源内訳) 一般財源 2,000千円
(前年度 0千円)

担当 福祉部 介護・高齢福祉課
森

354 - 8425

(新)訪問看護ステーション整備費補助金

1. 目的

居宅を訪問して療養上の世話などを行い自立した日常生活を営めるように支援する訪問看護を充実し、医療と介護の連携を図るため、訪問看護ステーションの整備を推進する。

2. 内容

訪問看護ステーションを新たに整備する法人を対象とし、在宅介護支援センターと連携を取りながら事業を実施できる体制が整えられていると認められる場合に、開設に要する経費の一部を補助する。

補助基準 2,000千円 / 1施設

補助額 2,000千円

3. 予算額 2,000千円 (財源内訳) 一般財源 2,000千円
(前年度 0千円)

担当 福祉部 介護・高齢福祉課
森

354 - 8425

(新) 消防設備整備費補助金

1. 目的

グループホーム等の小規模施設を対象にスプリンクラー等の防火安全設備の整備を図り、利用者の安全を確保する。

2. 内容

緊急経済対策による介護基盤緊急整備等臨時特例基金を活用し、設備整備に要する経費の一部を補助する。

(1) スプリンクラー設備

対象施設	グループホーム	8カ所
	特別養護老人ホーム	1カ所
	ショートステイ施設	4カ所
補助基準	9千円/㎡	
補助額	45,000千円	

(2) 自動火災報知設備

対象施設	グループホーム	4カ所
補助基準	1,000千円/1施設	
補助額	4,000千円	

(3) 消防機関へ通報する火災報知設備

対象施設	グループホーム	6カ所
補助基準	300千円/1施設	
補助額	1,800千円	

3. 予算額 50,800千円 (財源内訳) 県支出金 50,800千円
(前年度 0千円)

担当 福祉部 介護・高齢福祉課
森

354-8425

健 康 部

新年度予算における基本的な方針

市民の健康を取り巻く環境は、新型インフルエンザ等の感染症の発生や、子育てやこころに関する諸問題、また、がん等の生活習慣病の増加等多くの課題を抱えている。

これらの課題に関して、健康部は21年度に策定した「健康づくり計画」に基づいて、「子育て」、「健康づくり」、「安全安心」の視点から、実効性のある事業の推進に努める。

1. 医療事業について

「四日市市安心の地域医療検討委員会」作成の報告書、並びに「在宅医療アクションプログラム検討会」の提言書を踏まえ平成23年度は、より地域医療を推進するための具体的な施策として、医療と介護の連携の強化をはじめとして、訪問看護師等の養成のための研修、在宅医療への取り組みについて市民への周知などに努めていく。

また、医療法等関係法令に基づき、医療の安全確保のために、医療機関等に対して立入検査を行い、法令等に関する検査、医療安全管理のための指針等の確認並びに指導を実施し、それを市民に情報を還元することにより、市民が安心して医療機関に受診できる基盤の確保に努める。

【主な事業】	地域医療推進事業	9,600千円
	医療法等施行事務	435千円

2. 健康づくり事業について

母子保健事業では、安心、安全に妊娠、出産、子育てができる体制を推進するため、妊婦健康診査の検査項目の充実や、任意予防接種である子宮頸がん等のワクチン接種の全額助成を行う。また、育児不安が大きい生後4か月までの乳児がいる家庭に対しての全戸訪問や、子育て支援センターや保育園等との連携を図り、育児不安、発達障害、虐待等の早期発見・早期対応に努める。

また、子どものときからの健康づくりとして、食育や歯科保健にも取り組んでいく。

成人保健事業では、死亡原因第1位の悪性新生物(がん)を早期に発見・治療するため、がん検診の適切な提供に努めがん検診の受診率向上に取り組む。

市民健康づくり推進事業は、健康ボランティア登録数を増やすとともに、ボランティア組織の強化や資質向上を支援し、地域の既存の団体との連携を含めた健康づくり実践活動の推進を行う。また、働く世代に対して健康に対する意識を向上するため関連機関と連携し働きがけを行う。

【主な事業】	こんにちは赤ちゃん訪問事業	9,050千円
--------	---------------	---------

検診事業	276,997千円
女性特有のがん検診推進事業	48,621千円
妊産婦乳幼児健康診査事業	307,653千円
健康づくり市民協働事業	4,230千円
予防接種事業	337,155千円

3. 予防事業について

インフルエンザ等流行期のある感染症には流行前での予防啓発や状況に応じた効果的な情報提供を行い、感染症の発生時には、患者の人権を尊重し迅速かつ的確な対応と情報提供によりまん延防止を図る。

またエイズ対策事業については、エイズ相談やHIV抗体検査の実施による正しい知識の普及、早期治療、二次感染の防止に努めるとともに、啓発資料の作成や研修会を開催し患者の偏見解消、エイズや性感染症に対する正しい知識の普及啓発を行う。

また、結核対策事業では、患者管理の徹底、接触者検診の実施により、再発防止、早期発見により、まん延を防止する。

こころの健康づくり支援事業では、より市民の活用を図るため「こころの相談窓口」の周知強化を行うとともに、開催回数の増設や出張相談の実施により体制・機能の充実を図る。また精神障害者への理解を深めるため地域と一体となった普及啓発活動の実施、庁内関係各部や関係機関と連携した自殺対策を行う。

なお、精神保健措置事業では、自傷他害のおそれがあり緊急に医療及び保護が必要な精神障害者に対して、法に基づき患者の人権を尊重した措置を講じる。

【主な事業】	感染症予防対策事業	16,718千円
	こころの健康づくり支援事業	2,936千円

4. 衛生指導事業について

食に関する事業については、「四日市市食品衛生監視計画」に基づき、食品等（添加物、器具および包装容器を含む）の生産、製造加工、輸入、流通、販売などの一連の行程を対象とした監視指導や食品の検査を実施するとともに、食品事業者に対して四日市市食品登録認証制度による自主衛生管理を推進し、食の安全安心を確保する。

薬事関係については、薬事法に基づき、薬局、店舗販売業への監視指導を行うことにより、医薬品、医薬部外品等を販売する上での品質・安全性を確保し、市民の保健衛生上の危害を未然に防止する。

薬物乱用防止の対策については、四日市市薬物乱用防止対策協議会や地域自治体等と協働で普及啓発を行い、特に、青少年への対策に重点的に取り組むため関係機関等と連携し、講習会を開催する。

動物愛護管理事業については、狂犬病予防法や動物の愛護及び管理に関する法律等に基づき、犬猫の引取・保護・抑留の実施、市民の相談に対し適正飼養・終生飼養などについて助言・指導を行い、畜犬登録、避妊等手術費補助金交付を実施し、ペット動物に対する窓口の一元化に努める。

さらに、未就学児～小学生低学年児童を対象に「犬との接し方教室」を開催し、命の尊さや人と動物との共生の啓発を行う。また、やむを得ず引き取られた犬に生存の機会を与える成犬譲渡事業により犬猫の処分数減少に努める。

さらに、動物取扱業者を対象に施設監視や講習を実施し、動物の健康及び安全を保持するとともに、生活環境の保全上の支障が生ずることを防止する。

【主な事業】	食の安全安心対策事業（監視部門）	12,315千円
	薬事審査指導事業	1,695千円
	小動物管理費	27,458千円

5. 食品衛生検査事業について

感染症対策については、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」により規定されている感染症に対し、感染疑いのある人の微生物保有検査または感染者の家族・接触者等の微生物保有検査を実施し、感染症発生の予防及び蔓延防止に努める。また、HIV抗体検査などを実施し、感染症の早期発見に努める。

食の安全安心対策については、安全な食肉・食品を提供するため、「と畜場法」や「食品衛生法」に基づき、適切にと畜検査を行う。また流通している食品を収去検査し、食中毒発生時には正確な検査で被害の拡大を防止する。

【主な事業】	感染症対策事業（検査部門）	8,199千円
	食の安全安心対策事業（検査部門）	24,929千円

6. 国民健康保険事業について

国民健康保険事業については、医療制度改革により、平成20年度から保険者に義務付けられた新たな生活習慣病対策としての「特定健康診査」と「特定保健指導」について、受診率・実施率の向上に取り組むとともに、これまでの「がん検診」「脳ドック」「歯科検診」の補助事業を継続し、医療費抑制を図る。平成22年度に設置された収納推進課と連携し、市民に対しきめ細やかで丁寧な収納業務を行うことにより、累積滞納額の削減を図る。さらに、保険料の収納率と納付者の利便性の向上を目指して、軽自動車税とともに実施したコンビニ収納の普及拡大に努める。

【主な事業】	保険給付費	19,418,597千円
	保健事業費	316,844千円
	（国民健康保険特定健診等事業費）	272,165千円）

(その他保健事業費	44,679千円)
保険料収入	7,927,422千円

地域医療推進事業

1. 目的

急速な少子、高齢化が進展する中、市民誰もが安心して医療を受けられ、心豊かに生活できるまちづくりが求められている。本市においては、平成20年度より在宅医療を中心とした地域医療の取り組みについて、四日市市安心の地域医療検討委員会を設置し、検討を行い報告した。また、平成22年度には在宅医療をより推進する具体的な施策を検討するため、在宅医療アクションプログラム検討会を設置し、12月には提言も行われた。平成23年度は、これら報告書並びに提言を踏まえ、地域医療推進に向けた体制づくりに努めていく。

2. 内容

四日市市安心の地域医療検討委員会検討結果、並びに在宅医療アクションプログラム検討会の提言を踏まえ、本市の社会資源を活用し、市民誰もが安心して保健、医療、福祉のサービスを切れ目なく適切に受けることができる体制の構築を目指す。

具体的事業としては、市民に対する周知啓発の講演会、訪問看護師養成、育成のための研修実施、医療関係者の知識向上を目指した研修会の開催を行う。

3. 予算額	9,600千円	(財源内訳)	その他特財	204千円
(前年度)	1,247千円)		一般財源	9,396千円



担当 健康部 健康総務課

岡本、田中

354 - 8281

妊産婦乳幼児健康診査事業

1. 目的

妊娠期間中計 14 回の妊婦健康診査を公費で行い、母体や胎児の健康確保を図り、安心して妊娠、出産ができる体制を確保する。

2. 内容

性感染症である性器クラミジア感染症はほとんど症状がないため、医療機関に受診せずに放置していることが多く、妊婦にとっては子宮外妊娠などの原因となる。

今回従前からの検査項目に加え、妊娠 30 週頃までに当該検査を行うことで、治療に結びつけ、安心かつ安全な出産につなげる。

3. 予算額	307,653千円	(財源内訳)	県支出金	64,884千円
(前年度)	283,571千円)		その他特財	165千円
			一般財源	242,604千円

担当 健康部 健康づくり課

山下

354 - 8187

健康ボランティア養成事業

1. 目的

健康寿命の延伸においては、市民一人ひとりが自ら健康づくりを行うという意識の浸透とともに、健康づくりが実践できる場の拡大、継続につながる仲間づくりが重要となる。地域のより身近な場所で活躍するボランティア養成に取り組み、市民の健康づくりの機運を高め、健康づくりの裾野の拡大を図る。

2. 内容

健康ボランティアを養成し資質の向上を図りつつ、ボランティア組織の充実や地域の各種関係団体と連携した健康づくり実践活動の強化への支援を行い、健康づくり自主活動の展開を市内全域へ広げる。

3. 予算額 2,300千円 (財源内訳) 一般財源 2,300千円
(前年度 2,311千円)



担当 健康部 健康づくり課
上原

354 - 8291

感染症予防対策事業

1. 目的

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、感染予防のための知識の普及、情報提供を行うとともに、発生時には患者の人権を尊重し、迅速かつ的確な対応を行い感染症のまん延を防止する。

2. 内容

(1) 感染症対策事業 (3,749千円)

(防疫対策事業1,189千円 感染症発生動向調査事業2,560千円)

感染症の感染予防、まん延防止のため、感染症の発生動向の情報を収集、解析し、市民・医療機関等へ情報提供を行う。市民への啓発については、感染症の流行時期に合わせ、広報、ホームページ、出前講座等活用し行う。

(2) エイズ等対策事業 (632千円)

エイズのまん延防止及び患者の偏見の解消を図るため、正しい知識の普及啓発を行うとともに、電話・面接によるエイズ相談やHIV抗体検査を毎週水曜日に実施し、早期発見・早期治療による二次感染防止を図る。

(3) 結核対策事業 (12,337千円)

(結核対策事業2,276千円 結核医療費10,061千円)

服薬困難な患者への服薬継続支援(DOTS)を行うとともに、患者管理の徹底、接触者検診の実施など、早期発見、早期治療による発病の予防及び結核のまん延防止を行う。

3. 予算額 16,718千円 (財源内訳) 国庫支出金 9,856千円
(前年度 21,516千円) 一般財源 6,862千円



担当 健康部 保健予防課

吉澤

352-0594

こころの健康づくり支援事業

1. 目的

「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法)」に基づき、適切な対応を図るとともに、患者の自立、社会参加の促進や精神障害への理解を深めるための普及啓発活動を行う。

また、「自殺対策基本法」に基づき、総合的な自殺対策の取り組みを推進する。

2. 内容

(1) こころの健康づくり支援事業(2,650千円)

精神保健対策として、市民の活用を図るため「こころの相談窓口」の周知強化を行うとともに、医師、保健師等による従来の体制から新たに精神保健福祉士を加えた相談体制の強化、出張相談、訪問指導の実施等相談機能・体制を充実し、総合的かつ専門的な立場から更なる初期対応を強化する。

また、精神保健の向上及び精神障害への理解を深めるため、地域と連携し普及啓発活動を行う。

なお、自殺は社会的要因を含む多様かつ複合的な原因・背景を有することを踏まえ、庁内関係各部や関係機関と連携し多角的に自殺対策を行うとともに、市民啓発の強化を図る。

(2) 精神保健措置事業(286千円)

自傷他害のおそれがあり、緊急に医療及び保護が必要な精神障害者に対して、精神保健福祉法に基づき患者の人権を尊重した措置を講じる。

3. 予算額	2,936千円	(財源内訳)	県支出金	687千円
(前年度)	2,196千円)		一般財源	2,249千円



担当 健康部 保健予防課
勝田
352-0596

食の安全安心対策事業（監視部門）

1. 目的

食品関係事業者に対して監視指導を行い、食品衛生管理を向上させ、食品による健康被害を未然に防止する。

また、市内に流通する食品について食品衛生法に基づく検査を行い、違反・不良食品を排除し、安全な食品の流通を確保する。

2. 内容

(1) 食品衛生監視指導事業（6,315千円）

「四日市市食品衛生監視計画」に基づき、食品の生産から販売に至る食品供給行程の各段階における衛生確保のために、監視指導を行う。

重点監視項目としては、全国的にも増加傾向にあるカンピロバクター、腸管出血性大腸菌(0-157)による食中毒の原因となりやすい店舗等の監視指導及び冬期に多発するノロウイルスによる食中毒で、大規模な患者発生につながる施設等の監視指導を強化する。

また、食品表示は消費者と食品をつなぐ重要な情報源であることから、事業者が適正な表示ができるよう指導を行うとともに、HACCP(高度自主衛生管理手法)に基づいた「四日市市食品衛生自主管理登録認定制度」の普及を積極的に推進し、自主衛生管理を促進するため事業者に向けた的確な助言・指導を行う。

(2) 食品検査事業（6,000千円）

生産、製造、加工又は販売される食品等について、食品衛生法に定める規格基準等に適合しているかを検査(食品添加物等の理化学検査)し、違反・不良食品等を排除することにより、市民の健康被害を未然に防止する。

3. 予算額 12,315千円 (財源内訳) その他特財 12,315千円
(前年度 12,736千円)



担当 健康部 衛生指導課
加藤、松井
352-0592

食の安全安心対策事業（検査部門）

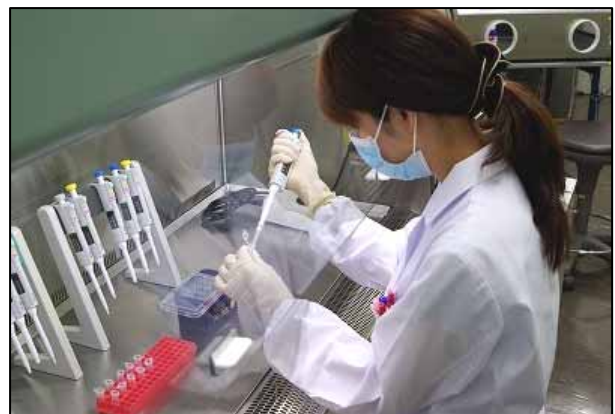
1. 目的

近年食品の偽装や有害物質の残留等の問題が報道される中、食品・食肉の安全安心が叫ばれている。食品衛生検査所は「と畜場法」や「食品衛生法」に基づく検査を確実に実施することにより安全な食品・食肉を消費者に提供していく。

2. 内容

安全な食肉を提供するためBSE検査、残留有害物質検査等を行う。
又、流通過程の食品を収去検査し食品の安全を図っていくとともに、食中毒発生時には原因究明のための迅速な検査を実施し拡大防止に努める。

3. 予算額	24,929千円	（財源内訳）	国庫支出金	2,190千円
	（前年度 23,090千円）		その他特財	13,133千円
			一般財源	9,606千円



担当	健康部	食品衛生検査所
	広瀬、岡本	
TEL	352-0785	

国民健康保険特定健診等事業

1. 目的

国民健康保険の保健事業として、生活習慣病の発症の原因とされるメタボリックシンドローム（内蔵脂肪型肥満）に着目した特定健康診査を行うことにより、早期に該当者及び予備群を発見する。その後特定保健指導を実施し、生活習慣を変えることにより重症化、重度化を防ぎ、健康の維持・増進を図るとともに医療費の抑制を図る。

2. 内容

平成20年度から医療保険者に義務づけられた特定健康診査等事業について、四日市市国民健康保険に加入している40歳～74歳の人を対象に特定健康診査を引き続き行い、リスク要因の高い人には、特定保健指導（動機付け支援又は積極的支援）を行う。平成23年度は、特定健康診査等事業の趣旨及び重要性について、さらなる周知を図るとともに受診勧奨を行い、関係機関との連携を図りながら、受診率を向上させることに努めていく。

3. 予算額	272,165千円	(財源内訳)	国庫支出金	82,487千円
(前年度)	284,014千円)		県支出金	82,487千円
			その他特財	24,704千円
			一般財源	82,487千円



担当 健康部 保険年金課
伊藤

354 - 8158